

ようこそ

インド全土の日本人コミュニティへ

YOKOSO

06 2026 JUNE VOL. 137 無料

www.yokoso.co.in

【今月の注目スポンサーと最新情報】

GD Goenka World School P.8
(2026-2027年度の入学相談・学校案内を随時受付中)

Table & Twist P.9
(洗練された高級ホームデコ専門店)

Kampai..... P.23
(期間限定の特別サマーメニュー「Summer On A Roll」開催中)

「ここに生まれたから」をなくすために P.42
(すべての子供たちに未来を。私たちが今できること)

L'Opéra P.68
(爽やかに喉を潤す、新作サマー・ピバレッジ・メニューのご案内)

Expatria
Mobility Redefined

すべての駐在員管理サービスを、
ワンストップで!

パンフレットはこちら



+91-95991-98950

お問い合わせください

enquiry@expatria.in

COMPLETE SOLUTIONS
Service Apartment Pvt Ltd
+91-98733-90356(En)

ems
Business Redefined

安らぎ
ホステル
ANARAGI

UUNIQUE
Think India, Think Unique!

KrayMari
Demystifying Complexities

木漏れ日が 煌めく季節

新しい冒険を 始めよう

FORMULA GROUP
Mobility Managed.®



www.formulaindia.co.jp

レンタカーサービス

FORMULA GROUP
Mobility Managed.®

ハイクオリティを今、貴方のご予算で。
ドライバー付きレンタカー



1日から、1ヶ月、1年などの長期ご利用まで、
ご希望に合わせて配車いたします。

フォーミュラのフリート部門は、
日本のハイヤークオリティを指標に創設されました。
現在、インド全土で550+台以上の車両を自社所有。
用途に応じてお好みの車種をお選びいただけます。
フォーミュラドライバーは全員グループ社員。
安心、安全をお届けします。

Short Term Rental 短期レンタカー

ご出張時インド全国主要都市から配車できるフォーミュラなら、
お電話またはメール1本でフライトご到着時刻に合わせて、
国内の主要空港にてお迎えいたします。

Long Term Rental 長期レンタカー

フォーミュラ長期レンタカーは、それぞれのお客様に専用のお車、専任のドライバーをお付けいたします。
社用車に、ご家族用に、レジャーに、皆様の移動の
頼もしいパートナーとなることでしょう。



MobiReLO Technology for Everyone



お問い合わせはお気軽に私たちジャパングラスまで!



長谷川 大海
日本



イシャ ヴイドワンス
ムンバイ



土橋 美由紀
デリー-NCR



ドゥリティカ スダン
デリー-NCR



ヴィディ ジェン
デリー-NCR



タンヤ エーブル
デリー-NCR



シュリシティ モハンティ
デリー-NCR

お問い合わせ: [日本語可] +91-99100-13038, +91-96502-99556 | [英語] +91-98181-97782

Eメールアドレス: enquiry@formulaindia.com | ウェブサイト: www.formulaindia.co.jp

デリー | グルグラム | ムンバイ | プネ | ベンガルール | チェンナイ | ハイデラバード | アーメダバード | スーラト

工場 設立支援 サービス



立地選定

- 専門チームが、労働力・インフラ・資材・環境影響を詳細に分析。
- 適切な立地が、工場成功の鍵を握ります。



法令遵守(コンプライアンス)

- 専門チームによる許認可取得支援。
- 現地・地域・国際基準への確実な対応。



プロジェクト管理

- エンドツーエンドの管理により、プロジェクトをスケジュール通り、予算内で推進。
- 的確な計画により、遅延を抑え、生産性を向上。



サプライチェーン管理

- 高品質かつコスト効率に優れた設備・資材の調達。
- 調達・交渉・物流により、リードタイムを短縮。



その他の工場設立関連サービス

その他のサービス

給与管理 | ビジネスコンサルティング | 人事アドバイザー

なぜ選ぶのか:

- ❖ 効率的なプロジェクト推進
- ❖ 専門家によるガイダンス
- ❖ コスト効率
- ❖ 専任サポート
- ❖ 法規対応の専門性

eminence management solutions private limited

本社: Suite 443, Tower-B, Spazedge, Sohna Road,
Sector-47, Gurugram (Haryana) - 122018

メール
info@emsinfo.in

24X7ヘルプライン
+91 95991-98951

ウェブサイト
www.emsinfo.in



EXPAT MANAGEMENT SOLUTIONS

Expatriaは、インド全土でリロケーション、イミグレーション、車両管理サービスを提供するグローバルモビリティソリューション企業です。

顧客第一のアプローチで、移転や新生活をシンプルにし、企業や個人が大切なことに集中できるようサポートしています。



移民・ビザサービス



FRRO / FRO



書類認証・翻訳サービス



移転・定住サービス



商業・オフィス設立サービス



車両管理

なぜExpatriaを選ぶのか？

- ✔ 一人ひとりに合わせた、対効果の高いサービス
- ✔ **24時間365日**対応のサポート
- ✔ 専門知識を持つ専任チーム
- ✔ テクノロジーを活用したアプローチ
- ✔ 品質とコンプライアンス
- ✔ インド全土に広がるサービス

パーソナライズ された学校探し サービス

Expatriaでは、学校選びは学力だけでなく、
お子さまが安心して成長できる環境を見つけることが大切だと考えています。

学校探しサポートは、ご家族のニーズに合わせて最適な選択ができるよう
お手伝いし、お子さまの成長と幸せをしっかりと支えます。



Ms. Srishti Sandooja



Ms. Rezia Devi



Mr. Rajeev Nair



Mr. Kushagra Singh



Mr. Lavanya Singh



meera samuh corporate services pvt. ltd.

本社: Suite 435-436, Tower B, Spazedge,
Sohna Road, Sector- 47, Gurugram
(Haryana) - 122018

ウェブサイト
www.expatria.in

メール
enquiry@expatria.in

24X7ヘルプライン
+91-95991-98950

固定電話
+91-124-450-5600

日本語ヘルプライン
+91-74288-33587

カラオケ



テーブルチャージにつきましては、以下の料金となっております。

- ① ラウンジ 料金 [18:00~01:00]
おひとり様 1000ルピー 【カラオケ2曲無料+ピーナッツ付き】
- ② プライベートルーム 料金 [18:00~01:00]
おひとり様 2000ルピー 【ビール1杯無料+カラオケ歌い放題+ピーナッツ付き】
- 5階席 テーブルチャージ Rs 2,500

- ◆ 女性スタッフへのマナーのお願い
- ◆ 肩を組んだり抱きつく等の行為は、禁止させて頂いております。
- ◆ お客様と同じソファーに座ることもご遠慮させて頂いております。何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。
- ◆ 【レディースドリンク 400ルピー 杯】
- ◆ ボトル キープ & スペシャルオファー
- ◆ 購入日から、3ヵ月までとさせて頂いております。
- ◆ 毎月、特定のボトルを値引き価格で、購入できる日があります。【女性スタッフにお尋ねください】

● +91-98181-00121, +91-92055- 27206, +91-84139- 73673 英語対応 ● 0124-4929292



Japanese Restaurant

AZABU 麻布

Azabu Restaurant provide authentic Japanese food and Japanese style Chinese food

営業時間 Timing

昼食 12:00 ~ 15:00 | ラストオーダー 14:30

夕食 18:00 ~ 22:00 | ラストオーダー 21:45

年中無休 All Days Open

Tel: +91-84477-58638



@AZABU INDIA

CLARENS
Hotel

Clarens Hotel
Plot 363-364, Sector-29
Gurugram, Haryana, 122001
☎ +91-98181-00121

Dr Lal PathLabs

Sovaaka™

Science Behind Wellness



昨今、「寿命は延びているが、より若いうちに発症する」という傾向が見受けられます。高いストレス、偏った食生活、睡眠不足、運動不足、そして環境汚染などが要因となり、非感染性疾患 (NCDs) が猛威を振っています。

生活習慣病の全身スクリーニング

- アレルギー検査
- 糖尿病
- 脳卒中
- 肥満症
- 喘息
- 関節炎
- 心疾患・高血圧
- 心臓病
- がん検診
- 遺伝子検査

医師による事前カウンセリングに基づいた、パーソナライズ・プログラム

- 性別・年齢別に対応

料金：11,000ルピー～

ご予約・お問い合わせ ☎ +91-124-3102222 (英語)

ウェルネスの背後にある科学を、今

75年
以上の実績

確かな医療知見と
専門性



22箇所以上の
臓器がん検診



AI活用プログラム



詳細な健康分析



放射線量を抑え、
騒音を97%カット

当施設限定のプレミアム・サービス



個別アシ
スタンス



医師による事前
・事後カウンセリング



専門家による
食事相談

(ダイエット・コンサルテーション)



コンシェルジュに
よる優先案内
(待ち時間なし)



落ち着いた
静かな環境



デジタル
健康管理



詳細はこちら
(QRコードをスキャン)



www.sovaaka.com



2nd Floor, Plot No. 4,
Sector 65, Gurugram - 122001



Thrive. For Life.



グループ最高峰のインターナショナルスクール

経済紙「Economic Times」選出 2026年
インド最優秀エデュケーションブランド受賞



入学相談/学校案内 随時受付中 2026-2027 | 2歳 ~ Grade 12



幼稚園から高校3年生 (K-12) まで対応 全寮制
(レジデンシャル)・週単位の帰省・通学プランから選択可能

IB PYP
プログラム
(幼稚園 ~ グレード5)

**ケンブリッジ・
ローセカンダリー** プログラム
(グレード6 ~ 8)

IGCSE
プログラム
(グレード9~10)

IBDP & IBCP
プログラム
(グレード11~12)

IBDPクラス(グレード11)への編入で、200,000ルピーの奨学金を授与

スクールバス (GPSあり)
での毎日の送り迎え
グルガオン、デリー地区

GD Goenka Education City
Sohna Road, Gurugram
入学に関するお問い合わせ・窓口:
+91-92540-29456 / +91-98181-71302 (英語)

✉ admissions@gdgoenka.com
🌐 gdgws.gdgoenka.com

【入学案内・出願】
はこちらをスキャン





Queen Elizabeth's School

GURUGRAM, INDIA

英国式ボーディングスクールを体験

「日本語母語プログラム」のご案内

私たちは、第一言語としての日本語カリキュラム(国語教育)を通じて、生徒たちが自らの言語とアイデンティティに深く根ざしながら、学業において力強く開花できるようサポートいたします。

入学願書受付中 | 2026年8月開校

EY1 (幼稚部) ~ Year 9 (中等部) | 通学・寮制学校



東京ドーム約1.5個分



24時間365日常駐のセキュリティ、医療、そして心のケア(パストラルケア)



世界のトップ大学への進学ルート



教室の中だけにとどまらない、未来のグローバル市民の育成

【入学案内・出願】
はこちらをスキャン



+91 844 814 3444

www.qegurugram.com

Admissions Suite: 1st Floor, Tower 1, Atrium Place, Gurugram

Table
Twist

Table & Twist

— プレミアム・ホームデコ・デスティネーション —

[YOKOSO 読者限定特別特典]

本広告をご持参いただいた方に、
多数の対象商品を特別割引でご案内いたします。



美術工芸品 | デザイナーズテーブル | 花々
花瓶 | 家具 | 壁の装飾

INSTAGRAM



@TABLEANDTWIST



+91-93546-32303



Table & Twist

Ground and 1st Floor, DLF PHASE 1,
A-26/7, Golf Course Road, A Block,
DLF Phase 1, Gurugram, Haryana



DIA PARK PREMIER HOTEL

JAPANESE CHEF
SHOICHI SAKASHITA

SOMI RAIFU
創味 × 来富

COLLABORATION EVENT
JAPAN **RAMEN** FESTIVAL

灼熱MELA

Can You Handle the Heat?

JAPAN'S FINEST BRAND
創味 ~ SOMI

JOIN US FOR A SPECIAL COLLABORATION EVENT
2026.06.13 (土) ~ 14(日)
13:00 ~ 20:00

VENUE: DIA PARK PREMIER HOTEL: CAFE HONEY/BANQUET HALL

本格的に麺から開発 DIA PARK初のラーメンイベント
ラーメン10種
ベジラーメン6種

食べ比べミニ販売300ルピー ~ ドリンク販売も致しております
スクリーンドラゴン大会も開催
ミニパットゴルフ、カキ氷販売等お子様もお楽しみ頂けます

※当日は高い気温が予想されます。

ホテル内とはいえ、道中の熱中症に気を付けて、
こまめに水分補給等をして、
皆様のお越しを楽しみにお待ちしております



・お得な前売り券好評発売中/Advance Tickets Now on Sale! ☎ +91-99998-80621(日本語/English)



SMOKED & GRILLED



アメリカ風バーベキュー
PASTRAMI CUBANO



チリドッグ
CHILLY DOG



ふわふわのバイクドポテトとマリナラソース
BAKED FLUFFY POTATO WITH MARINARA SAUCE



グリルウシノシタ
GRILLED RIVER SOLE FISH



ベーコンステーキ
BACON STEAK



カリフラワーステーキとベビーポテト
CAULIFLOWER STEAK WITH
BABY POTATO

アメリカ風バーベキュー
じっくり燻して香ばしく焼き上げました

THE PIT GURGAON

📍 Shop No 21 Ground Floor, Global Foyer Mall, Golf Course Road, Sector 43, Gurugram - 122009

ご予約はコチラの電話番号から承ります。+91-96676-65122 (英語)

🕒 月～日 12:30～23:30 ✉ info@naturollfoods.com

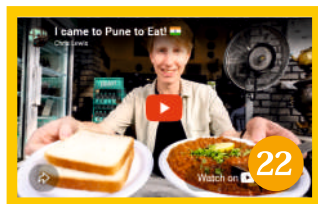


SMOKED & GRILLED

お知らせ お会計から15%割引! (有効期限:2026年6月30日)

その他の情報

- | | | | |
|----|---------------------------------------|----|--|
| 22 | ボハからミサル・バオまで: Chrisさんのブネー食べ歩き | 54 | asksiddhi - インドをもっと知ろう |
| 24 | asksiddhi - インドをもっと知ろう | 56 | インド・バルシー |
| 38 | インドの学校で転校は珍しくない?
「合う環境」を探し直すという考え方 | 62 | インドで事業をしている日本企業が「恒久的施設
(Pe)」とみなされるリスクについて |
| 42 | 「ここに生まれたから」をなくすために | | |



asksiddhi - インドをもっと知ろう



「ここに生まれたから」をなくすために



インド・バルシー

広告

- | | | | |
|----|--|----|--|
| 1 | Cover Page | 31 | The Imperial Stitch |
| 2 | Formula Group | 32 | Unique Consulting |
| 3 | Eminence Management Solutions Pvt. Ltd. | 33 | Yasuragi Hotel |
| 4 | Meera Samuh Corporate Services Pvt. Ltd. | 34 | King's College UK Gurugram |
| 6 | The Clarens Hotel | 35 | Lancers International School |
| 7 | Sovaaka | 36 | DPS International Edge |
| 8 | GD Goenka World School Gurugram | 37 | American Embassy School |
| 9 | Queen Elizabeth's School Gurugram | 40 | Little Unicorns International Garderie |
| 10 | Table & Twist | 41 | GD Goenka Global School |
| 11 | Dia Park Premier Hotel | 50 | Central Park The Room |
| 12 | The Pit | 51 | Avalon Courtyard Residences and Suites |
| 14 | The Pasta Bowl Company | 52 | Courtyard by Marriott |
| 16 | DiGhent Café | 53 | Yume Japan |
| 18 | Overseas Courier Service Co. Ltd. | 59 | Prokinesia Healthcare |
| 20 | Yeti The Himalayan Kitchen | 60 | P.I. Prestige International India |
| 21 | Asuku India | 61 | The Dental Villa |
| 23 | Kampai | 65 | UrbanGrey Furniture |
| 28 | Bhavya Packaging | 66 | Formula Group |
| 29 | Complete Solutions Service Apartment Pvt. Ltd. | 67 | Krisumi Waterfall Residences |
| 30 | Jingi Corporate Solutions Private Limited | 68 | L'Opéra |

「ようこそ」は、インドに滞在されている、またはインドで勤務されている日本人を対象に、ライフスタイルやトラベル情報などをご提供しているフリーペーパーです。



メールでのお問い合わせはこちらをスキャン

出版社名: Yokoso Magazines

出版情報: 無料月刊マガジン / 年12回

配布エリア: Delhi, Gurgaon, Noida, Neemrana, Manesar

ご協力者芳名:

デシュムク陽子 / 山田幸彦 / ナラヤニ / KRAYMAN LLP /
レーケッシュ・サイニー / ジェー・アー・サクセナー



the pasta bowl company



料理は15パーセント引

割引適用には、こちらのページをお持ちください!

(有効期限:2026年06月30日)

+91-99719-50077 (英語)、+91-99719-70077 (英語)

+91-124-4375666



📍 2nd Floor, Cross Point Mall, DLF Phase IV, Sector 28, Gurgaon, Haryana
✉ info@thepastabowlcompany.com 🌐 www.thepastabowlcompany.com
🕒 月~日 11:00~23:30 📷 thepastabowlcompany 📘 The pastabowlcompany



ワインやビールもご用意

カフェ。カルチャー。コミュニティ



open

月～日

08:00～23:00

インド最高のカフェを決める
Best Cafe India 2022」
を受賞。

Times Food
award for
Best Cafe

DiGhentはグルガオンのCross Point Mallで本格ヨーロッパ料理とベルギー料理を提供しているカフェです。 当店では料理はもちろんのこと、お食事体験にも古き良き時代のヨーロッパを再現しています。外国人駐在員にとっては、もしかすると故郷を思い起こさせるものかもしれません。都市で暮らすインド人にとっては、古いヨーロッパの魅力に浸れる幸せな空間になっています。



DiGhent Cafe

208, Level 2, Cross Point Mall (Galleria Market向かい), Gurgaon

ご予約はコチラの電話番号から承ります。+91-92892-31188 (英語) 定休日なし

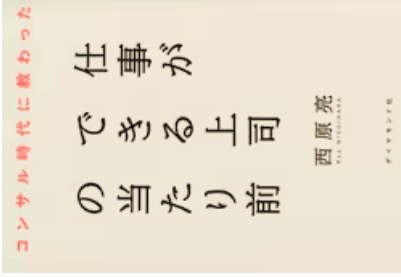
OCS
ANA GROUP

は、“お父さん”便。

口数は多くないけれど、大人の味を教えてください、
背中を押してくれるようなアドバイスをくれたり、
いつでもさりげなく支えてくれるお父さんのように。
がんばりすぎずに、がんばれ!

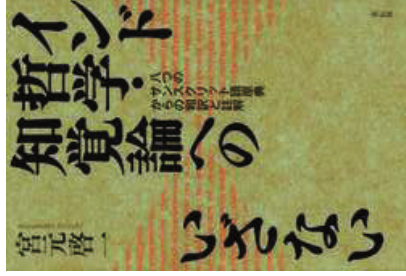
日本から一品一品想いを込めて、OCSがお届けします。





商品情報はこちら▶

コンサル時代に教わった
仕事ができる上司の当たり前



商品情報はこちら▶

インド哲学・
知覚論へのつらなり
八つのサンスクリット語原典からの和訳と註解



商品情報はこちら▶

野菜を健康的に食べる。
ひと皿のアリネ

食品から雑誌・新聞・常備菜まで、
ANAグループのOCSが、ご自宅・オフィスまで丁寧にお届けします。

OCSファミリーリンクサービス

- 商品はすべて日本国内からの直送、お届けはご自宅/オフィスまで。
- 送料は商品重量合計に対して算出いたします。

例) 食料品・日用品・医薬品 3kg_13,030円 5kg_16,340円

- ご注文いただいた日から5~10営業日での発送。発送時に、ご登録のメールアドレスへ荷物番号をご案内いたします。
- 注文1回毎のクレジットカード払い一括決済額に対して200円につき1マイルが貯まります。

株式会社OCS(ANAグループ)営業部 電話: +81-3-5534-7969 メール: salesfood@ocs.co.jp(日本語)

Grand Open! 5月1日 日用品ドラッグストア



サービス案内▶



日用品ドラッグストア▶



コーテ・モモ →



← スチーム・モモ



タカリ・ターリー



テイスティ・カクテル →



← モクテルとフレッシュジュース



レッド・ベルベット・ケーキ →



← フィラデルフィア・チーズケーキ



夏メニューをお楽しみください

+91-124-430-3846

2nd Floor, Crosspoint Mall, DLF PH-IV, Sector 28, Gurugram, Haryana - 122002

TANIFUJI RICE

谷藤米

谷藤米が、日本のフラッグシップキャリアの1つでもあるANAの機内食として採用



記事要約

ASUKU INDIAの谷藤米が全日空(ANA)のビジネスクラスの機内食として採用されたと、日本の日経新聞に記事が掲載されました。ANAの取締役である片桐氏は、谷藤米を使用することで、より高品質のサービスを提供できるようになったと述べました。

インド初上陸

お米1キロをプレゼント

*レストラン・ホテル・日系企業に限りませ



抽選で10組のお客様に、毎月1キログラムのサンプルをプレゼントしています。



谷藤米はさらにアップグレードされました。谷藤米が選ばれた理由は以下です。

1. 弊社は自社のお米工場、精米された新鮮なお米を提供しています
 2. 私たちは日本のトップであるお米農学博士の谷藤先生から、栽培についての指導を受けています。
- 米は鮮度が命です。お米は精米してから時間が経つと酸化・劣化し、味が落ちてしまいます。弊社はインドに谷藤米専用の精米工場を持っているため、精米したてのお米をお客様に提供することが可能です。新鮮という要素は、お米にとって最も重要部分です。精米後、時間が経つとお米は酸化により劣化し、風味を失います。弊社はインドに専用の精米工場を持っているため、新鮮なお米をお客様に提供できます。



谷藤米のサンプルご購入に関しては以下のメールアドレス又は電話番号にお問い合わせ下さい。

📍 1st Floor, The Great Eastern Centre, 70, Nehru Place, Behind IFCI Tower, New Delhi 110019
 ☎ +91-74289-14791/92 (日本語) ✉ info@asukuindia.com (日本語) 🌐 www.asukuindia.com



ポハからミサル・パオまで: Chrisさんのプネー食べ歩き

趣味でヒンディーやウルドゥーの動画をよく視聴していますが、Chrisさんもいい感じのヒンディー語を話してくれるので、勉強になっています。

アメリカ人旅行系YouTuberのChris Lewis氏が、プネーで丸一日かけてマハーラーシュトラ料理を食べ歩く内容の動画を見つけた。

アップされたのが今月はじめごろなので、比較的最近、訪れたのかもかもしれない。

プネー編は2本あり、こちらは後編の方である。

前編では、うちの近所の「Irani Cafe」や、Koregaon Parkの有名店などを回っていて、こちらも興味深い。

しかしそのこだわりは、結果として地域社会に深く根を下ろすことになる。

製品は瞬間に地元住民の間で支持を得て、カフェや商店へと広がっていった。

とりわけ、都市部に点在する「イラーニー・カフェ」と呼ばれる独特の文化空間において、「Arady's」は欠かせない存在として定着していったのである。

前後編ともに、「グルメ動画」というよりも、「プネーという街の人々の温かさ」や「穏やかな都市の空気」を強く印象づける作品になっている。

Chrisさんは行く先々で、プネーの素朴な人々による歓待を受けていた。

例えば、見知らぬおじさんからナッツをもらったり、サングラス屋から無料でサングラスを渡されたり、飲食店で代金を「払わせてもらえなかった」り、ゲームショップ店主からレトロゲームを贈られそうになったりといった、「過剰なほどの親切」が繰り返し描かれている。

動画後半では、「食よりも、人々の温かさのほうが強く記憶に残った」という流れになっていく。

後編でChrisさんが食べ歩いた店は、「Anage Kitchen」のポハ(Poha)、「Appa's Kitchen」のサブダナ(Sabudana)料理、「Hotel Durga」のコールドコーヒー(Cold Coffee)、屋台のドーサ、「Katakir Misal」のミサル・パオ(Misal Pav)*など。

そして最後に訪れたのは、「インド最古のゲーム店」を謳う「Baboo Video Games」である。

ここでは、ChrisさんはGame Boy、Pokémon、Nintendo 64、Zelda、Super Nintendoなどのレトロゲームについて、45年以上にわたりの地で修理・販売・収集を続ける店主はもちろん、居合わせた客らとも語り合う。

そして、「代金を受け取らずにゲームを渡そうとする」という、店主の強烈なホスピタリティに圧倒されていた。

国内大都市のみならず、パキスタンのカラチなども訪問した経験のあるChrisさんは、プネーを「緑が多く、比較的清潔で、歩きやすく、人が押しつけがましくない、落ち着いた都市」などと評している。



Yoko Deshmukh
(デシュムク陽子)

asksiddhi - インドをもっと知ろう

インド・プネ在住歴10年以上の英日・日英フリーランス翻訳者、デシュムク陽子(Yoko Deshmukh)が運営しています。2003年9月30日からインドのプネに住んでいます。

本ブログ「ASKSiddhi(アスクスィッディ)」は2003年8月より翻訳の訓練を兼ね、インド情報を中心にほぼ毎日更新。

ASKSiddhi(アスクスィッディ)は、インド・プネのソフトウェア会社ShimBi Labsが開発し、プログラミングの知識がなくても誰でも簡単にオリジナルなブログを構築できるソフトウェア、「Budo」を使って更新しています。

この夏、カンパイ (Kampai) より、
期間限定の特別メニュー
「Summer On A Roll」が登場いたします。



デリーの厳しい暑さを
乗り切るために考案された、
爽やかで清涼感あふれる味わいが
勢揃いいたします。
今しか味わえない特別な寿司、
餃子、そしてポケボウルを
ぜひご堪能ください。

📍 Kampai – Aerocity (エロージーティー)
Worldmark 1, G-02, Aerocity,
New Delhi - 110037

☎ +91-93192-74015 (英語)

ルピー安が映すインド経済の構造課題

日本円とインド・ルピーはいま、世界で最も低迷している通貨だよね。
米ドルで稼ごうとする人々がしのぎを削るわけだな。

日本円と同様、対ドルで下落を続けるインド・ルピーの背景について、インド工科大学デリー校(IIT Delhi)経済学教授であり、ハイデルベルク大学南アジア研究所の客員研究員、Jayan Jose Thomas氏による、分かりやすく解説した記事を見つけたので、抄訳している。

1年前にはおよそ85ルピー前後であったルピー対ドル為替レートは、今年5月に96ルピーを突破、急激な下落を見せている。

インドは長年にわたり、物品輸入(特に石油)が輸出を上回る

ただし、この物品貿易赤字は、主に、ソフトウェアを中心とするサービス輸出による外貨流入や、西アジア諸国などで働く出稼ぎ労働者からの大規模な送金による、サービス収支などの「見えない取引(インビジブルズ)」の黒字によって部分的に相殺されている。

それでも、物品貿易収支とインビジブルズ収支を合算したインドの経常収支は、全体として赤字状態にある。

インドが海外へ支払う外貨額と、海外から受け取る外貨額の差である経常収支の不足分は、主として外国投資や借入など、資本収支による流入によって補われてきた。

このため、経常赤字以上に資本収支黒字が大きければ、その余剰外貨は外貨準備高へ積み上げられる。

国家の外貨準備高は、家計における貯蓄のように重要な存在である。

外貨流入が不足する時期には重要輸入品の支払いに使われ、資本流出が過度に拡大した際には、自国通貨の価値を守るためにも利用される。

外国直接投資(FDI)は主に新設・既存工場や事業への投資であり、そのため受け入れ国との結び付きが比較的強い。

一方、株式や債券の購入を伴う外国ポートフォリオ投資(FPI)は、投機性が高く、極めて変動しやすい。

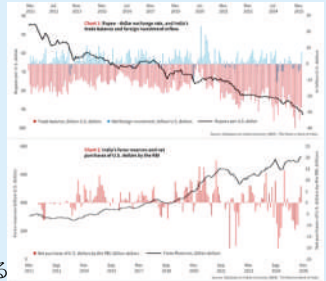
ポートフォリオ投資家は短期的な金融利益を求めて流入し、リスクの兆候が見えたり、他国でより高い利回りが得られたりすると、すぐに撤退する。

FPIが流入すると株式市場は活況を呈するが、流出時には深刻な打撃を残す。

資本流出とは、投資家がルピー建て資産を売却し、ドル建て資産へ資金を移すことであり、その結果、ルピー需要と為替レートは急落する。

インド・ルピーが急速に下落した時期には、いずれも貿易収支の悪化、FPI流出、あるいはその両方が見られた。

具体例として、2013年4月～9月(54.4→63.8)、2018年1月～10月(63.6→73.6)、2020年2月～4月(71.5→76.2)、2022年1月～10月(74.4→82.3)、2024年9月～2025年2月(83.3→87.1)、さらに2025年5月から始まった最新局面(85.2→96)が挙げられる(Chart 1)。



最近のルピー下落は主として、地政学的緊張の高まりや米国金利上昇を背景に、外国投資家が安全資産を求めてインド市場から撤退したことによるものである。

ルピー安はインド経済に大きなコストをもたらす。

たとえば、1バレル100ドルの原油を購入する場合、為替レートが1ドル＝85ルピーであれば、8,500ルピーで済んだが、現在では9,600ルピーを支払わなければならない。

その一方で、ルピー安は輸出促進効果も持つ。

1,200ルピーのシャツは、現在の為替レートでは米国市場で12.5ドルで販売できるが、1ドル＝80ルピーなら15ドルとなる。

ただし、「インド製造業には需要・供給両面でさまざまな制約が存在する」※ため、ルピー安だけで輸出が大きく伸びるとは限らない。

インド準備銀行(RBI)は、為替レートが極端に下落するのを防ぐため、市場介入を行っている。

外国投資家がルピー建て資産を売却してドルへ逃避する際、RBIは保有するドル(あるいは米国債)を売却することでルピーを支える。

これによりルピー需要が高まり、下落ペースを抑制することができる(2024年10月～2025年1月、および2025年8月～12月にも実施された)。

インドの外貨準備高は依然として十分な規模を維持しており、2026年3月末時点で約6,911億1,000万ドルに達していた。

これは2025年12月末基準で、約10.8か月分の輸入を賄える水準であり、投機的な資本流出からルピーを防衛するためにRBIが活用できる強力な「武器庫」である。

現在続く地政学的緊張と、原油価格上昇の脅威は、インドに深刻な課題を突き付けている。

インドは、1バレル当たりより多くのドルを支払わなければならない上、1ドル当たりより多くのルピーを必要とする状況に陥っている。

※インフラ不足や物流コストの高さ、製造設備や部品供給網の制約、熟練労働力不足、電力供給の不安定さなどに加え、海外市場での競争力や品質管理面の課題。

ケーララ社会改革とマラヤーラム映画の原点

近年は注目を集める機会が多いマラヤーラム映画の歴史を学べる1冊です。

マラヤーラム映画の発展は、ケーララ州そのものが、歴史的にしばしば独自の道を切り開いてきたこととも切り離せない。

1890年代、Swami Vivekanandaは、当時のマラヤーラム社会における深刻なカースト差別や不可触民制、さらに封建領主の支配に強い衝撃を受け、ケーララ州を「狂人の収容所」と形容した。

こうした変化は自然発生的に生まれたものではなく、長年にわたる闘争の積み重ねによって実現されたものである。

ナーダル(Nadar)カースト*の女性たちが上半身を覆う衣服を着用する権利を求めて立ち上がった「チャナル蜂起(Channar Revolt)」から、Ayyankali*、Sree Narayana Guru*、V. T.



Bhattathiripad*、Sahodaran Ayyappan*ら社会改革家による差別的慣習への抵抗運動、そして道路や寺院を含む公共空間への平等なアクセスを求める運動に至るまで、その歩みは困難を伴うものであった。

また、一部のキリスト教宣教師たちも、抑圧構造を緩和する上で一定の役割を果たした。

1850年代、旧トラヴァンコール(Travancore)王国*に奴隷制廃止を迫ったことに始まり、それまで学校教育から排除されていた被抑圧カーストへの教育普及にも尽力した。

さらに、Vaikom Satyagraha*(1924年)や、Guruvayur Satyagraha*(1931年)といった歴史的運動の余波は、その後も長年にわたりケーララ社会に影響を与え続けた。

これらはいずれも、被抑圧カーストの人々に対し、寺院および周辺公共空間への立ち入りを認めるよう求めた非暴力運動であった。

この時期、マラヤーラム映画もまた、ようやく産声を上げ始めていた。

1930年、J. C. Danielが、同言語初の映画作品であるVigathakumaranを制作した。

初期のマラヤーラム映画では、他地域の映画産業で主流だった神話映画よりも、家族劇や社会問題を扱った作品のほうが圧倒的に多かった。

その多くは、個人が全財産を投じて制作した作品であり、制作本数自体も極めて少なかった。

1930年代になると、共産主義思想がケーララに流入し、農民運動や労働運動、さらには政治演劇、歌、文学、映画を生み出す文化的変動をもたらした。

後に数々の人気映画を脚本・監督することになる劇作家Thoppil Bhasiは、1952年に『Ningalenne Communistakki(あなたが私を共産主義者にした)』を執筆した。

この作品は後に映画化され、大衆への左翼思想浸透に寄与した。

その5年後、ケーララでは世界初の民主的に選出された共産主義政権が誕生した。

政権はまもなく反動勢力による抗議運動によって崩壊したものの、土地改革や教育改革を含む政策は、人間開発指標の劇的向上への基盤を築いた。

中でも、後のマラヤーラム映画に大きな影響を与えた文化運動が「映画協会運動」である。

1965年、Adoor Gopalakrishnan*とその協力者Kulathoor Bhaskaran Nair*は、ケーララ初の映画協会を設立した。

この運動は急速に広がり、町や村に次々と映画協会が誕生、世界映画の名作が毎週上映されるようになった。

それは、人々の映画というメディアへの見方を根本から変える出来事となった。

やがて、この流れはマラヤーラム映画のニューウェーブ誕生へとつながっていく。

1972年、Adoorは、当時主流だった現実逃避型娯楽作品や定型の家族劇とは対照的に、鋭いリアリズムによって人間の存在を描き出した『Swayamvaram』によって、その先頭に立った。

同じ年には、前衛的映画監督John Abrahamが『Vidyarthikale Ithile Ithile』でデビューし、さらに2年後にはG. Aravindanが『Uttarayanam』で台頭した。

その後まもなく、別の映画作家たちが商業映画と並行映画双方の長所を融合しようと試みた「ミドル・シネマ」と呼ばれる潮流が形成された。

K. G. George, Padmarajan, Bharathanらが、1970～80年代を代表する旗手となった。

また、M. T. Vasudevan Nairをはじめとする文学界の巨匠たちや、John Paul, A. K. Lohithadasら若手脚本家たちは、人間関係の複雑さや、人間精神の本質的弱さを掘り下げた脚本を次々と生み出した。

この10年ほどで形成されてきた現在のマラヤーラム映画ニューウェーブのルーツは、まさにこの「ミドル・シネマ」時代にある。

現在の映画作家たちの多くは、こうした先人たちの作品を見て育った世代だからである。

実際、Dileesh Pothan監督による『Joji』（2021年）と、非常事態時代を背景とした『Irakal』（1985年）との間には、直接的な系譜を見いだすことができる。

しかしながら、こうしたマラヤーラム映画黄金期の名作群や、1980～90年代の優れた商業的大ヒット作品の多くは、今なおケーララ州外ではほとんど知られていない。

*ナードル(Nadar)カースト: 南インド、特にタミル・ナードウ州やケーララ州に居住するコミュニティ。歴史的に差別的扱いを受けていたが、教育や商業活動を通じて社会的地位を向上させたことで知られる。

*Ayyankali: 19～20世紀のケーララ州の社会改革家。被差別カーストの教育権や公共空間へのアクセス向上を求めて活動した。

*Sree Narayana Guru: ケーララ州出身の思想家・社会改革家。「一つのカースト、一つの宗教、一つの神」を掲げ、平等思想を広めた。

*V. T. Bhattathiripad: ケーララ州の社会改革家・作家。特にナンバードゥリ共同体内部の保守的慣習改革で知られる。

*Sahodaran Ayyappan: 合理主義と社会平等を提唱したケーララ州の改革家。反カースト運動や社会改革活動に従事した。

*トラヴァンコール(Travancore)王国: 現在のケーララ州南部を中心に存在した旧藩王国。イギリス統治時代にも一定の自治権を保持していた。

*Vaikom Satyagraha: 1924～25年にケーララ州ヴァイクムで行われた反カースト運動。被差別カーストの人々に寺院周辺道路への通行権を求めた非暴力運動。

*Guruvayur Satyagraha: 1931～32年にグルヴァーユール寺院で展開された社会運動。被差別カーストの寺院入場権を求めた。

*Adoor Gopalakrishnan: インドを代表するマラヤーラム映画監督。リアリズム重視の作品で知られ、インド並行映画運動の重要人物。

*Kulathoor Bhaskaran Nair: 映画協会運動初期に活動したケーララ州の文化活動家。Adoor Gopalakrishnanとともに、ケーララ初の映画協会設立に関わった人物として知られる。



Yoko Deshmukh
(デシュムク陽子)

asksiddhi - インドをもっと知ろう インド・ブネ在住の英日・日英翻訳者、デシュムク陽子のブログ

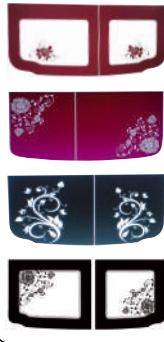
インド・ブネ在住歴10年以上の英日・日英フリーランス翻訳者、デシュムク陽子(Yoko Deshmukh)が運営しています。2003年9月30日からインドのブネに住んでいます。本ブログ「ASKSiddhi(アスクスィディ)」は2003年8月より翻訳の訓練を兼ね、インド情報を中心にほぼ毎日更新。ASKSiddhi(アスクスィディ)は、インド・ブネのソフトウェア会社ShimBi Labsが開発し、プログラミングの知識がなくても誰でも簡単にオリジナルなブログを構築できるソフトウェア、「Budo」を使って更新しています。

あらゆる包装ニーズに応えるソリューション

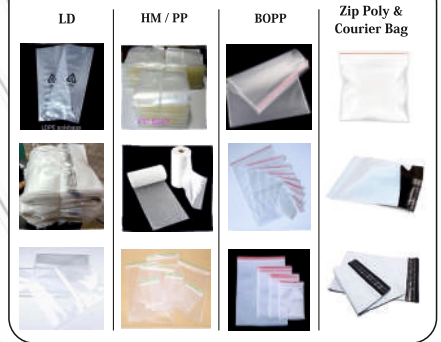
取り扱い商品

- ポリ袋(LD, HM, PP, BOPP, ジップポリ袋, 宅配袋)
- テープ(ブラウン、ホワイト、カスタムカラー - 全サイズ)
- マスキングテープ / 紙テープ
- バブルバッグ
- フォームジグ(ESD、非ESD)
- 段ボール箱
- ペット容器
- ストレッチフィルム
- 木製パレット

ガラス印刷



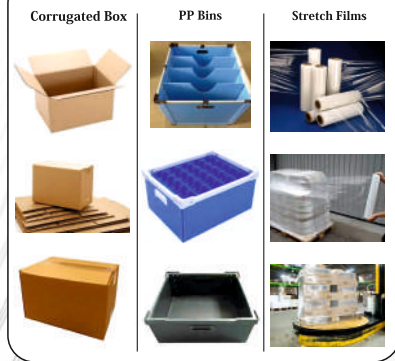
一次包装



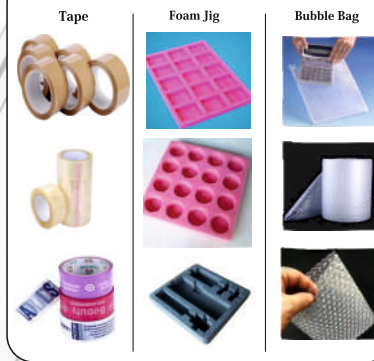
プリント基板



二次包装



三次包装



木製梱包箱



荷造りに関する様々なニーズに応えるため、様々な業者に依頼することによってストレスを感じていませんか？

今、私たちはあなたのすべての梱包のニーズにここにるので心配する必要はありません。



弊社をベンダーとする特典

- ✓ 100%の顧客満足度
- ✓ お客様のニーズに合わせてカスタマイズ可能な製品
- ✓ デリー-NCRの全エリアでの存在感 最高の品質

私たちの幸せなクライアントの一部をご紹介します。

SAMSUNG

Mothenyan Surti Systems Limited

COMTECH

H.G.D (INDIA)

TORAY Innovation by Chemistry などなど...



M/S BHAVAYA INTERNATIONAL

☎ 事務所: 10/3, Krishna Puri, Mandawali, Fazalpur, Delhi -110092

☎ 9999-280-158 ✉ bhavayainternational@gmail.com ✉ sachinkr1978@rediffmail.com

☎ 工場1:- 0-252, Sector-1, Bawana Delhi-110039 ☎ 工場2 :- 284, Ecotech 3rd, Greater Noida, UP

家具家電付きサービスアパートメント

仲介手数料
ゼロ

Complete Solutions は、不動産やゲストハウス、サービスアパートメント、ゲストハウス、家具家電レンタルなどを扱うリースサービスプロバイダーで、2008年からデリー-NCRの1,200人以上のお客様にサービスを提供しています。お客様のニーズと要件にあう最適な物件を最良の価格で提供いたします。



Complete Solutionsでレンタカー

- ✓ お車のレンタルは、もっと簡単に便利に!
- ✓ Complete Solutionsはインド全土でフレキシブルなレンタカーサービスを提供、ビジネスパートナー様の安全と快適を保証します。
- ✓ 主な自動車ブランドの新车やSUVをご提供しています。
- ✓ 長期間レンタカー
- ✓ 短期間レンタカー
- ✓ 従業員の移動手段
- ✓ 必要備品すべてを完備した商用登録車両を保有

ご提供サービス

- 顧客の要件に取り組む社内の専門市場調査チーム
- あらゆる住宅ニーズにワンストップで対応
- 契約後の充実したアフターサポート
- 24時間年中無休で経験豊富なチームがサポート対応
- 日本語でのサポート対応可能

- 追加料金にてTOTOウォシュレットを設置可能! ● リビングルームに50インチTVを設置!
- 日本のテレビチャンネルは、別途有料となります。

ヘルプデスク24時間年中無休



Ms Divya Sansi (Preeti)
Managing Director

+91-98733-90356 (英語)
✉ preeti@completesolutions.org.in



Mr. Puran Chandra
Japan Desk

+91-98216-90104 (英語・日本語)
✉ helpdesk@completesolutions.org.in



Complete Solutions Service Apartment Pvt. Ltd

📍 C-1518, Lower Ground Floor, Sushant Lok-1, Gurgaon, Haryana 122002

🌐 www.completesolutions.org.in

インド進出の日系企業様に対し、法務・規制・HR・会計の実務支援を通じて、事業の安定と成長をサポートいたします。ご不明点やご相談などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

インド進出支援 ▶ 用地取得／各種許認可・ライセンス取得／政府インセンティブ対応

法務 ▶ 契約書作成・レビュー／コンプライアンス／労働法・POSH／法務DD・紛争対応

規制対応 ▶ BIS認証／RBI・FEMA／輸出入・工場法対応

カンパニー秘書（CS）▶ 業務 会社設立・登記／法定コンプライアンス／取締役会・株主総会サポート

HR・採用 ▶ HR体制構築／労務管理／採用支援（JD・選考・入社支援）

会計・税務 ▶ 記帳／財務諸表・レポート／法人税・GST・源泉税

チーム紹介

菅原 久子
全体統括

ラジシュ・ラワット
会計・税務

ラジニシュ・クマール
法務・CS・HR

マヘシュ・クマール・シャルマ
リクルートメント



Jingi Corporate Solutions Private Limited

13th Floor, Imperia Mindspace, Unit 0001, Opposite AIPL Business Club, Sector 62, Gurugram, Haryana -122001 ☎ jpdesk@jingi.co.in



発行部数
6,000部/毎月



お客様の パーソナルテーラーとして

ステップ1

- 生地を選択と寸法
- 店内に揃うさまざまな生地からゆっくりお選びいただけるよう、ご来店計画をお立てください。
- 初日はお客様のスーツ寸法をお渡しいただくか、店頭にて寸法をお測りします。

ステップ2

- 最初のフィッティング
- 最初のフィッティングの3日後以降に再度ご来店いただき、ジャケット、パンツとシャツが適切にフィットしているをご確認ください。

ステップ3

- 2回目のフィッティングを調整
- あと少しだ！
- 翌日、2回目かつ最後のフィッティングのために再びご来店いただき、お客様のご要望をすべて叶えるものになっているかをご確認いただけます。
- 完成したらご自宅までお届けいたしま、お電話ください。

ステップ4

- スーツができました！
- スーツはすぐにご着用できるよう準備しています。
- 次のスーツは再度ご来店いただいてもよし、寸法が変わらなければ再注文いただいてもよし。

日本人のお客様にご納得いただける品質の
オーダーメイドスーツとオーダーメイドシャツを、
メンズおよびレディース問わずご用意いたします。

また、インドのお祭りや結婚式で着用される
インド民族衣装のオーダーメイドも承っております。

THE IMPERIAL STITCH

📍 B F 54 & 55, Block B, 1st Floor Element One, Sector 49, Gurgaon, Haryana

☎ +91-83688-64905 (英語)

✉ tonythetailor.india@gmail.com 🌐 www.tonythetailor.in

注目Point

- ✓ 長期に渡るお客様とのお付き合い
- ✓ 充実したアフターフォロー
- ✓ 多数の日系企業とのお取引実績
- ✓ 24 時間 日本語対応サービス

UUNIQUE のサービス内容

“One-Stop Solution” by UUNIQUE

住宅/オフィスのご紹介

FRRO取得サポート

カーレンタル

VISA更新手続き

長期/短期ゲストハウス

その他、お困りごとも
何なりとご相談ください



ご予算に合わせた
お車をレンタルさせていただきます



1BHK~4BHK
様々なお部屋をご提供します
*家具は、お客様で選んでいただけます



専門家が
確実に、迅速に対応させていただきます

お気軽に、お問い合わせください。もちろん WhatsApp  からでもOKです！

✉ support@uuniqueconsulting.com

☎ + 91 98187 59858
+ 91 99905 09991
+ 91 98732 87290 (日本語対応可能)



UUNIQUE のWeb Site



新築サービスアパートメントが
登場!!

DLF CYBER CITY&
MG ROAD近く!!

日本そのままのご滞在を!
ご予約受付中



YASURAGI

安らぎ

- 広々として清潔、手入れの行き届いた快適な空間で、まるで自宅にいるようにおくつろぎいただける宿泊空間をご提供します。
- 日本の文化や価値観に配慮し、お客様の期待を超えるサービスを心がけています。
- ビジネス街や地元の観光地へのアクセスが容易な便利な立地です。
- 最高水準の清潔さを維持しています。
- 空港送迎(24時間対応)
- キッチン・冷蔵冷凍庫完備
- 日本食をご用意しております。
- 会議室
- 宴会場
- お弁当始めました。



交通・生活ともに便利な立地 | MGロード駅から徒歩5分 | 高品質なサービス付きアパートメント

📍 V, 11/69, V Block, DLF Phase 3, Sector 24, Gurugram, Haryana 122010

☎ + 91 98187 59858

+ 91 99905 09991

+ 91 98732 87290 (日本語対応可能) ✉ support@uuniqueconsulting.com

ロケーションは
こちら





King's College UK
GURUGRAM INTERNATIONAL SCHOOL



学校をお選び いただいている理由。

- > 140年の歴史を誇る英国教育の伝統
- > 11か国から集まる学生たち
- > キャンパス全体の空気清浄システム
- > 個別学習
- > 自然を活かし、目的に合わせて設計されたネットワーク
- > 世界とのネットワーク



ウェブサイトはこちら



海外提携校



Bandhwari, Sector - 59,
Gurugram (Haryana) 122101, India
お問い合わせはこちらまで: **+91-84229-11111** (英語)



Lancers[®]
International School
An IB World School



あなたの子供を自分の子のように育てます

WE NURTURE YOUR CHILDREN LIKE THEY ARE OUR OWN

ランサーズ・インターナショナル

スクール創立から35年以上、ランサーズは卓越した教育の場として、2歳半から18歳までの生徒を育んできました。IBワールドスクールとして、デリーNCR第1位、インド全国第2位に評価され、45カ国以上のご家庭に選ばれています。

グルガオンの中心、DLFフェーズ5に位置する私たちのプレミアムキャンパスは、世界水準の設備、きめ細やかなサポート、そして心身の健康を大切にした環境を備えています。デジタル学習スペースや全生対象のサポートプログラム、栄養に配慮した食事まで、安心して学び、成長できる場を提供します。ランサーズでは、ただ学ぶだけでなく、自信、リーダーシップ、そして生にわたる学びの心を育みます。「ランサーズ」の教育を、ぜひご体験ください。

Multilingual Education

"Mom & Me" Program (12-18 months)
- Activities: Ballet, Drumming, Pottery, Yoga, BrainSmart

Boarding/Day Boarding System

Safe and Secure Campus with AI Monitoring

Wellness-Inspired International Cuisine Cafeteria

Fully IB World School

45 Years of Experience in Education

多言語教育の提供

「Mom & Me」プログラム(12~18か月)
アクティビティ:バレエ、ドラム、陶芸、
ヨガ、ブレインスマート

ボーディング/デイ・ボーディング制度

AI監視による安全で安心なキャンパス

ウェルネス発想の多国籍料理カフェテリア

完全なIBワールドスクール

教育分野での45年の実績



ウェブサイトはこちら

+91-99999-89848 (Eng)



Cambridge Assessment
International Education
Cambridge International School



DLF Phase 5, Gurgaon, Haryana | 22002 INDIA | www.lis.ac.in

+91-124-4171900



未来のグローバル市民を育てる

International Baccalaureate® World School, DPS International として、IBの一貫教育プログラム—Primary Years Program (PYP), Middle Years Program (MYP), Diploma Program (DP) and Career Related Program (CP)をすべて提供しています。幼少期から、物事を深く捉える思考力と、異なる分野を結びつけて理解する力を養います。

学校をお選びいただいている理由。

- ▶ 12年間にわたり、グローバルな視野を持つ生徒を育成してきました。
- ▶ 世界各国で通用する国際的カリキュラム IB認定校
- ▶ 20か国から集まる学生たち
- ▶ CIS認定校
- ▶ 将来を見据えた、個別対応型のカレッジアドバイザリー・プログラムを提供しています。
- ▶ 高い大学進学実績
- ▶ EDGEプログラムを通じて、生徒一人ひとりの興味・関心を見極めます。
- ▶ クラスサイズを抑えることで、生徒一人ひとりの個性に合わせたきめ細やかなサポートを実現しています。



お気軽にお問い合わせください

DPS International, HS 01, Block W, South City II, Gurgaon, Haryana-122001

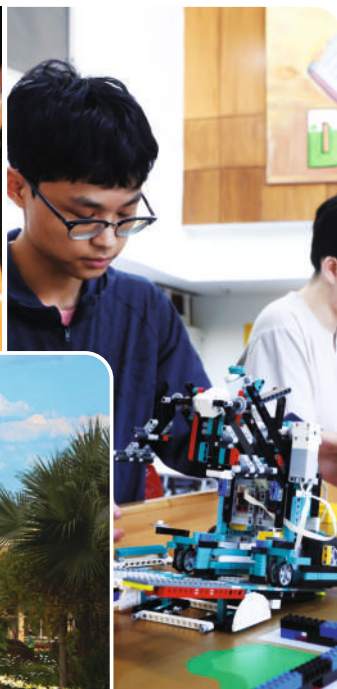
+91-83770-00164/65 (英語) | admissions@dpsiedge.edu.in

DPS INTERNATIONAL
ホームページ



aes

American Embassy School
The International Community



AESは、勉強・スポーツ・アート・ボランティア活動のすべてで卓越した教育を探求し続けています。

📍 aesdelhi

🌐 americanembassyschoolnewdelhi



入学願書は、幼稚園から12年生までの学年及び国籍別に先着順で随時受け付けています。



生徒の本気を引き出す教師陣や、真に国際的な環境、ダイバーシティ、豊富な選択肢を求め、AESが選ばれています。



学校見学は随時受け付けています。お気軽にお問合せください。

入学願書受付中!

*インド国籍の方は、AESの入学基準をご参照ください。

aes

American Embassy School
The International Community

☎ +91.11.2688.8854

🌐 aes.ac.in

✉ admissions@aes.ac.in

📍 Chandragupta Marg, Chanakyapuri,
New Delhi – 110021

インドの学校で転校は珍しくない？ 「合う環境」を探し直すという考え方

日本では、「転校」という言葉に少し特別な響きがあります。

- 人間関係で問題があったのでは
- 学校に馴染めなかったのでは
- 子どもがづらい思いをしていたのでは

そんな背景を想像する人も少なくありません。

一方、インドの都市部では、転校はもう少し日常の延長線上にあります。もちろん簡単な決断ではありませんが、「一度決めた学校に通い続けること」が絶対的な前提になっているわけではないのです。

本記事では、インド都市部における転校事情と、その背景にある教育観や家庭の考え方について整理していきます。

1. 学校選びは「入学して終わり」ではない

インドの都市部には、

- CBSE
- ICSE
- IB
- Cambridge

など、多様な教育カリキュラムが存在しています。

さらに学校ごとに、

- 宿題量
- 競争の強さ
- 発言の多さ
- 校風

も大きく異なります。

そのため、入学後に「思っていた雰囲気と違った」、「子どもの性格と合わないかもしれない」と感じる家庭も珍しくありません。インドでは、そうした違和感をきっかけに、学校環境を見直す家庭が比較的多く見られます。

2. 「合わないなら調整する」という感覚

日本では、「今いる環境に適應する」ことが重視されやすい一方、インド都市部では、「環境のほうを見直す」という発想も比較的自然に存在しています。

たとえば、

- 学習ペースが速すぎる
- 子どもが萎縮している
- 通学負担が大きい
- 教室の空気感が合わない

そうした理由から、転校を選択する家庭もあります。

それは「我慢が足りない」というより、子どもにとってより合う場所を探す、という感覚に近いのかもしれませんが。

3. 転校は簡単ではない

もちろん、転校には現実的な負担も伴います。

インドの私立校やインターナショナルスクールでは、

- 入学金
- デポジット
- 年間費用

など、入学時にまとまった支払いが必要になることも多くあります。

そのため、「気軽に学校を変える」というより、家庭はかなり慎重に判断しています。

特に日本人家庭の場合、

- 滞在期間の制限
- 子どもの言語環境
- 人間関係の作り直し

なども重なり、「本当に変えるべきか」を長く悩むケースも少なくありません。

4. “有名校”が全員に合うわけではない

インド都市部では、学校ブランドや進学実績が重視される傾向があります。

一方で、実際に子どもを通わせてみると、

- 競争環境が強すぎる
- 発言型授業が合わない
- 子どもが安心できていない

と感じることもあります。

逆に、比較的小規模な学校や、穏やかな校風の学校に移ったことで、表情が柔らかくなる子どももいます。

大切なのは、「どの学校が有名か」だけではなく、その子が安心して過ごせるかどうか。

それは、入学前には分からないことも多いのです。

5. 転校は「失敗」ではなく、調整

インド都市部の教育環境を見ていると、転校は「失敗」や「後戻り」というより、

「今の状況に合わせて環境を調整する」という感覚で行われている場面があります。

もちろん、環境を変えればすべてが解決するわけではありません。

けれど、

- ・ 毎朝学校へ行くのがつらそう
- ・ 自信を失い続けている
- ・ 学び以前に安心できていない

そんな状態が長く続くと、「別の環境を試してみる」という選択肢が存在していること自体が、支えになることもあります。

まとめ:「合う場所」を探し続けてい

インド都市部では、転校は日本ほど特別視されないことがあります。

それは、教育環境が多様であり、「子どもに合う場所を探す」という感覚が比較的根付いているからかもしれません。

もちろん、環境を変えるにはエネルギーが必要です。けれど、「一度決めたから変えてはいけない」と思い込みすぎなくてもよいのではないのでしょうか。

子どもが安心して学べる場所を探し続けることもまた、教育の一部なのかもしれません。

Japanese Family Support

- ・ 現地インターナショナルスクールのご紹介
- ・ 入学手続き、在学中の日本語サポート
- ・ インド留学・現地大学進学のご相談

★ご通学されているスクールの体験談、レビューを募集中

日本人の方が最適な学校選びを行なっていただけるよう、実際に通学されているスクールのリアルな体験談を募集しております。ご協力いただける方は以下よりご連絡をいただけますと幸いです。(お子様のご通学されているスクール、大人の方が通われている語学学校、その他、習い事などのスクール情報についても大歓迎です。)

LINEでのご相談



Webサイト



制作: 中野ひろみ、細池みなみ



発行部数
6,000部/毎月





Awarded
**'BEST STANDALONE PRESCHOOL
 OF THE YEAR - NATIONAL'**
 at the Indian Education Awards
 (16th Edition), powered by Entrepreneur
 India, tabulated by Ernst & Young.



PRE-SCHOOL | DAY CARE | ENRICHMENT CENTRE

「愛」が育む、学びの土台。

Little Unicorn'sでは、「安心感、愛、そして理解されているという実感」こそが、子どもたちの学びを最大限に引き出すと信じています。

私たちにとって「愛」とは、単に言葉で語るものではありません。それは教育理念の核心であり、すべての学習体験を支える揺るぎない土台です。



私たちの学びのアプローチ

Little Unicorn'sの学びは、子どもたちの探究心を大切にし、一人ひとりの反応に深く寄り添うスタイルです。

International Preschool Curriculum (IPC - Early Years) をベースに、Reggio-inspired practicesと Montessori-informed principlesを取り入れた、独自の教育プログラムを提供しています。



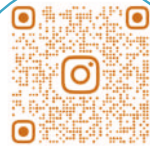
私たちの約束

私たちは、子ども時代を急がせません。そのかけがえない時間を尊重します。

Little Unicorn'sでは、愛と目的、そして誠実さを持って学びを深め、生涯にわたる成長の基礎を築きます。



対象年齢：
1.5歳～6歳



Scan to follow
our journey
♡



+91-87290-12345 (英語) | littleunicorninternational@gmail.com

www.thelittleunicorns.com

Ansalsushant Estate, Sector 52, Gurgaon - 122003, Haryana (10 mins from Golf Course Road)

2025年度
新入生募集中
2026-27
1歳6ヶ月 ~ Grade 6



安全性の高い
設備環境

グローバル
マインドセット

国際バカロレア
IBカリキュラム

入学相談・学校見学 随時受付中

国際バカロレア初等教育プログラム

1歳6ヶ月 ~ Grade 6

新設予定 News

GD GOENKA GLOBALは
中等部の国際カリキュラムを導入・拡充します。



DLF Phase3, Gurugram

minami@gdgoenkaglobal.com

+91 96508 20513 (日本語: Whatsapp)

学校情報はSNSでも  gdgoenkaglobal

ご確認いただけます  GD GOENKA Global School, Gurgaon

jyotika@gdgoenkaglobal.com

+91 96430 08291(English/Hindi)



福岡 洗太郎

NPO法人結び手代表理事

Musubi-Te Foundation, Chairman

Amegumi India Private Limited, Managing Director

1989年熊本産まれ愛知育ち

2014年東京大学文学部卒業/バックパッカーとして世界一周

2016年世界最大のHR会社にて勤務し、CSR活動の日本代表としても従事

2018年インドに拠点を移し、現地採用として働きながら社会活動を開始

2020年、21年コロナ禍の緊急支援実施しつつNPO法人結び手を設立

2023年、結び手インド法人となるMusubi-Te Foundationを設立

現場から届ける インドの課題と社会活動

「ここに生まれたから」をなくすために

インドで暮らす私たちの足元にある現実と、NPO法人結び手が目指すもの

文・福岡洗太郎(NPO法人結び手代表理事)

インドに住んでいると、この国の力強さに圧倒される瞬間が何度もあります。



高層ビルが次々と建ち、道路には車があふれ、スマートフォン一つで食事も移動も買い物も完結する。グルガオンのような都市にいますと、インドはまさにこれから世界の中心へ向

かっていく国なのだと、日々肌で感じさせます。日本人としてこの国で働き、暮らしている方であれば、その勢いを実感している方も多いと思います。

しかし、その同じ街のすぐ近くに、まったく別の現実があります。

ビルの建設現場の横で眠る家族。信号待ちの車に近づき、罵声を浴びせられながら物乞いをしたり、花や小物を売ったりする子どもたち。道路脇に作られた簡易的な住まいで暮らし、学校に通わず、文字を読めないまま成長していく子どもたち。私たちがレストランに行く道、オフィスへ向かう道、空港へ向かう道。その途中に、彼らは確かに同じ人間として存在しています。

忙しい日々の中で、私たちはその現実を見ないようにしてしまふことがあります。見てしまふと、何かを考えざるを得ないからです。何かを感じてしまふからです。そして、自分に何ができるのかわからず、無力感だけが残るからです。

私は2018年にインドに来てそのような日常を見ながら、何もできないまま“何をすべきか”を考え続けながらも何もできない日々を過ごしていました。

それでも今、私はインドの貧困地域で、子どもたちの基礎教育、女性の自立支援、災害支援、生活実態調査などに取り組むNPO法人結び手の代表として活動しています。

結び手のミッションは、「外部環境が原因で努力できない人をゼロにする」というものです。

少し大きすぎる言葉に聞こえるかもしれませんが、私にとってこれは理想論ではありません。毎日、現場で出会う一人ひとりの全く同じ人間に向き合う日々から生まれた言葉です。

「先生、今日はこれが読めた」

ビハール州ガヤ近郊の村で、ある子どもが私にノートを見せてくれたことがあります。

服は破れ、足元は裸足。髪は砂埃で白くなり、手には使い古された鉛筆と、黒く汚れた一冊のノート。その子は、ノートの端を大切そうにつまみながら、少し恥ずかしそうに言いました。

「先生、今日はこれが読めた」

そこに書かれていたのは、ごく簡単な文字でした。日本であれば、幼い子どもが当たり前のように読めるような短い単語です。けれど、その子にとっては、世界が少し開いた瞬間でした。

文字が読めるということは、単に勉強ができるということではありません。



看板が読める。業の名前が読める。金額が分かる。契約書に何が書かれているのか少しでも分かる。誰かに騙されそうになったときに、何かがおかしいと気づく。自分の名前を書く。

読み書きは、社会で他人と対等に関わるための最初の道具です。

しかし、私たちが活動する地域には、その道具を持たないまま大人になる人が少なくありません。学校がない。学校があっても先生が来ない。先生が来ても授業が成立していない。教科書がない。親も文字を読めない。家計を支えるために、子どもが働かなければならない。

その一つひとつは、本人の努力不足だとはとうてい言えません。外部環境です。

私はこの「外部環境」という言葉を、とても大切にしています。

世の中では、うまくいかない人に対して、「努力が足りない」「意識が低い」「計画性がない」といった言葉が簡単に投げられます。同時に、誰がどうみても努力できる環境にあるのに怠けている人などは、努力が必要な場面があります。自分で変えなければならないこともあります。

しかし、努力には前提があります。

文字が読めない人に「情報を集めろ」と言っても無理があります。数字が分からない人に「家計を管理しろ」と言っても限界があります。学校が存在しない地域の子どもに「勉強しろ」と言っても、それは命令ではなく、ただの暴力に近い言葉です。

努力できる人と、努力できない人がいるわけではありません。努力できる環境にいる人と、努力する前に環境に押しつぶされている人がいるのです。

私の原点は、インドではなく、ひとりの少女の言葉だった

私は熊本県に生まれ、愛知県で育ちました。大学は東京大学で倫理や哲学や宗教といった思想を学びました。もともとは、日本の若者の自殺を何とかしたいという思いがあり、また、自分自身が自ら命を断とうとしたこともあり、その抛り所はどこかにないのだろうかと思ひ、勉強しました。



高校生の頃、日本の若者の自殺に関するニュースを見て、強い違和感を覚えました。日本は、世界的に見れば極めて恵まれた環境にあります。もちろん日本にも多くの苦しみや孤独がありますが、それでも教育や医療、治安、インフラという面では、世界の中で非常に恵まれています。そのような国で、若い人たちが未来を見失い、自ら命を絶ってしまう。同時に、自分自身も希望を見いだせず、絶望とともに消えてしまいたいと願ってしまう。

なぜ人は生きるのか。なぜ人は他者を助けるのか。社会はどうあれば、人が自分の存在を肯定できるのか。

その問いを抱えながら、大学で思想を学びました。

大学卒業後、私は就職せず、バックパッカーとして約7か月間、世界を旅しました。アジア、北中南米、オーストラリアなどを回る中で、私の人生の方向を決定づける出会いがありました。

中米グアテマラの小さな村で出会った、11歳の少女です。

彼女は明るく、よく笑い、将来の夢を話してくれました。医者になりたい。日本にも行ってみたい。そんなことを、何の照れもなく話してくれました。

けれど、そのすぐ後に、彼女は表情を変えずにこう言いました。

「でも、ここに生まれたから無理」

最初、私は軽く言い返しました。

「そんなことないよ。まだ11歳なんだから、これから頑張ればいいじゃないか」

けれど、後日、彼女の家を訪ねたとき、私はその言葉に反論できなくなりました。

家は、木や植物を組み合わせたような簡素なつくりでした。衛生的なトイレもなく、インターネットもなく、安定した仕事もない。父親は仕事を探してもほとんど見つからず、家族はその日その日をどう生きるかという状態でした。

その環境を見たとき、私は初めて、自分の言葉の軽さに気づきました。

「頑張ればいい」

これは、頑張れる環境にいる側の言葉です。安全な家があり、学校があり、机があり、電気があり、誰かが自分に期待してくれる環境にいる側の言葉です。

彼女が「ここに生まれたから無理」と言ったのは、夢がないからではありません。才能がないからでもありません。努力したくないからでもありません。夢を見る力があるにもかかわらず、環境がその夢を最初から諦めさせていたのです。

そのとき、私は自分の人生の問いを一つの言葉にしました。

外部環境が原因で努力できない人などいない状況にしたい。

この言葉は、今も結び手の活動の中心にあります。

人材の仕事からインドへ

旅を終えた後、私は日本でAdeccoという人材会社に就職しました。



人材の仕事に惹かれた理由は明確でした。働きたい人と、仕事を必要としている会社をつなぐことは、環境によって機会を失ってい

る人に新しい道をつくることだと思ったからです。

仕事の中で、今でも忘れられない候補者がいます。

学生時代にいじめを受け、心を病み、高校を中退した方でした。履歴書だけを見れば、「高校中退」「フリーター」という言葉が目立ちます。しかし、実際に話してみると、独学でプログラミングを学び、資格も取り、アルバイト先ではリーダーを任されていました。責任感もあり、学ぶ力もあり、働く意欲もありました。

それでも、書類だけで落とされ続けていました。

私は、その人の背景や努力を企業に伝え、一緒に面談に同席することもありました。履歴書の文字だけでは見えないものを、どうにか伝えたかったのです。

その経験を通じて、私は改めて思いました。

人は、能力がないから機会を失うのではない。社会がその人を見る方法が粗すぎるから、機会を失うことがある。

その後、2018年にインドへ移りました。インドのJACという日系人材会社で働き、日印混成のチームを率いながら、ビジネスの現場で多くのことを学びました。インドは、非常に刺激的な国です。優秀な人材、圧倒的な成長、スピード、強烈な競争心。その一方で、都市の発展から取り残される人々もいます。

私は次第に、インドという国の中にある二つの顔を、同時に見るようになりました。

一つは、世界を変える力を持った成長するインド。

もう一つは、生まれた場所、カースト、性別、家庭環境、教育機会によって、最初から選択肢を奪われているインド。

この二つは、別々の国ではありません。同じ国の中に、同じ街の中に、同じ道路の両側に存在しています。

コロナ禍で見た、「支援しなければ死ぬ」という現実

結び手の活動の大きな転機は、コロナ禍でした。

ロックダウンによって、多くの人が一瞬で収入を失いました。工場が止まり、仕事が消え、日雇いで生活していた人々は、その日の食事すら確保できなくなりました。都市で働いていた出稼ぎ労働者の多くが、突然「地元へ帰れ」と言われました。しかし、帰るための交通手段がない。気温40度近い中、歩いて帰る人もいました。村に帰っても仕事がなく、絶望して自ら命を断つ大人もいました。



私の周囲でも、命が次々と失われていきました。その時には村やスラムとの関係

を構築しており、そのおかげで悲惨な状況が日々直接事実として私の耳に届いていました。

そのとき、私は理屈ではなく、ただ「食べ物を届けなければならぬ」と思いました。寄付を募り、食料や医療物資を届けました。日本の方々、インドの方々、多くの方が協力してくださり、結果として1万人規模の方々へ支援を届けることができました。

しかし、同時に強い違和感も残りました。

災害や感染症が起こるたびに、外から誰かが入って食料を配らなければ人が死んでしまう。その構造そのものを変えなければ、同じことは何度でも繰り返される。

緊急支援は必要です。しかし、緊急支援だけでは根本は変わりません。

では、何が必要なのか。

私がつどり着いた一つの答えが、教育でした。

ただし、ここで言う教育は、きれいな教室で行われる理想的な教育ではありません。まずは文字が読めること。数字が分かること。自分の名前が書けること。だまされないこと。必要な情報にアクセスできること。自分の権利を理解すること。社会の中で、自分が無価値な存在ではないと感じられること。

そこから始める教育です。

結び手の教育活動——読み書きだけでは足りない

現在、結び手はビハール州ガヤ周辺を中心に、複数の村で子どもたちへの基礎教育活動を行っています。また、ハリアナ州ゲルガオンのスラム地域でも教育活動を実施してきました。これまでに、ビハール州を中心とする地域を含め、21の村で約1,560名の子どもたちに学びの機会を届けてきました。



活動地には、学校がない地域もあります。学校があっても、教員が常に来るとは限りません。授業があっても、子どもが実際に読み書きできるようにしているとは限りません。

日本にいれば、「学校に行っている」と聞けば、ある程度の学習が行われていると想像します。しかし、現場ではそう単純ではありません。出席していることと、学んでいることは違います。教室に座っていることと、文字が読めることも違います。

子どもたちの中には、英単語をいくつか声に出せるのに、自分の母語であるヒンディー語を読めない子がいます。学校で何かを聞いたことはある。けれど、それが知識と

してつながっていない。断片だけが残り、生活を変える力にはなっていない。

私は、教育という言葉を安易に美化してはいけなと思っています。

教育は重要です。しかし、教育という大きな言葉だけでは何も解決しません。読み書きができるようになって、人を見下す人間になるかもしれない。計算ができるようになって、不正をより上手に行う人間になるかもしれない。学歴を得ても、差別や暴力を再生産する側に回るかもしれない。

だから結び手では、基礎的な読み書きや計算に加えて、「尊厳教育」に力を入れています。

私たちはこの取り組みを、ヒンディー語の「Garima」、つまり「尊厳」という言葉を使って、Garima Shiksha Programmeと呼んでいます。

この教育で目指しているのは、子どもたちを単に「被害者として救う」ことではありません。

将来、彼ら自身が誰かを差別しないこと。賄賂や汚職を当たり前だと思わないこと。弱い立場の人を利用しないこと。女性を所有物のように扱わないこと。カーストや貧困を理由に、人の価値を低く見ないこと。

つまり、子どもたちを未来の加害者にしないことです。

これは非常に重要です。

貧困地域の子どもたちは、被害を受ける側として語られることが多いです。もちろん、それは一面の真実です。しかし、子どもたちは成長します。大人になります。親になります。地域の意思決定に関わるようになります。そのとき、もし彼らが差別や暴力や汚職を「普通のこと」として学んでしまえば、次の世代にも同じ構造が引き継がれてしまいます。

だからこそ、子どものうちに、「人を尊重するとはどういうことか」「嘘をつかないとはどういうことか」「弱い人を守るとはどういうことか」「怒りを暴力に変えないとはどういうことか」を一緒に考える時間が必要です。

授業では、物語や紙芝居を使います。

「この子は、どう感じたと思う？」

「このとき、先生はどうすべきだったと思う？」

「もし友だちがからかわれていたら、あなたは何かできる？」

正解を押しつけるのではなく、考えさせます。言葉にさせます。自分の経験と結びつけさせます。

これが簡単ではないことは分かっています。30分の授

業で社会が変わるわけではありません。しかし、子どもが初めて「他者の痛み」を言葉にできた瞬間、そこには確かな変化があります。

ひとりの講師が教えてくれた、教育の本当の意味

結び手で活動に関わってくれている現地講師の一人に、忘れられない人生があります。

ここでは個人が特定されないよう、一部を匿名化して書きます。

彼女の父親は、まだ幼い頃に結婚させられました。子どもそのまま、大人として働くことを求められました。畑で働いても、稼ぎは親族に取り上げられる。文字が読めないため、自分の権利を主張することも難しい。何がおかしいのかを感じていても、それを社会に向けて説明する言葉がない。

声を上げたのは、彼女の母親でした。

「働いた分は、私たちのものではないのですか」

そう訴えるたびに、母親は侮辱され、時には暴力を受けました。

子どもだった彼女は、その姿を見て育ちました。貧しさとは、お金がないことだけではなくありません。文字が読めないこと。情報がないこと。法律を知らないこと。味方がいないこと。何かがおかしいと感じても、それを言葉にできないこと。

それらが重なったとき、人は奪われ続けます。

彼女は、成長してから学び直しました。そして今、子どもたちに教える側に立っています。

ある日、彼女は私にこう話してくれました。

「自分が子どもの頃に知りたかったことを、今の子どもたちには伝えたい」

私はその言葉を聞いたとき、教育の意味を改めて考えました。

教育とは、単に知識を与えることではありません。奪われてきた言葉を取り戻すことです。自分の人生を、誰かに勝手に決められないための力を持つことです。

子ども新聞——一枚の紙が、教材になり、仕事になる

結び手の教育活動の一つに、「子ども新聞」があります。

活動地の中には、教科書が一冊もない家庭もあります。本がない。新聞がない。文字に触れる機会がない。そのような地域で、子どもたちが継続的に読むものを届けたいと考え、私たちは子ども向けの新聞を作り始めました。

内容は、英単語、数字、簡単なニュース、クイズ、道徳の物語、生活に関わる知識などです。ただ読むだけではなく、書く、考える、話すことにつながるようになっています。

子どもたちは、新聞を手にとると、最初は絵を見ます。次に、知っている文字を探します。読める単語が増えると、友だちに自慢します。前より早く読めた、今日はこの文字が分かった、家に持って帰って弟に見せた。そういう小さな変化が生まれます。

そして、この新聞は読み終えた後にも役割があります。

使い終わった新聞を回収し、現地の女性たちが封筒、紙袋、メモ帳、扇子などにアップサイクルします。それを日本やインドの都市部で販売することで、女性たちの収入につなげています。

つまり、一枚の新聞が、子どもの教材になり、女性の仕事になり、支援者との接点になります。

教育と雇用は、別々のものではありません。子どもが学び、母親が働き、地域に少しずつ収入と自信が生まれる。その循環をつくるのが大切です。

女性たちの中には、こう話してくれる人もいます。

「自分が作ったものを日本人が使ってくれていると聞いて、初めて自分にもできることがあると思った」

「差別の言葉を浴びせられずに仕事ができることがうれしい」

この言葉は、単なる収入以上の意味を持っています。

仕事は、お金だけではなく。社会の中で、自分が役に立っていると感じる経験です。自分の手で作ったものが誰かに届くという実感です。尊厳を取り戻す機会です。

女性支援——布ナプキンから見える、見えない差別
結び手では、女性の自立支援にも力を入れています。



その一つが、布ナプキンの製作と販売です。ブランド名はCotoh。現地の女性たちが製作し、都市部や日本の方々へ届ける取り組みです。

生理の問題は、日本でもまだ語りにくいテーマかもしれません。しかし、インドの貧困地域では、これは健康、教育、尊厳、収入、差別のすべてに関わる問題です。

生理の問題は、日本でもまだ語りにくいテーマかもしれません。しかし、インドの貧困地域では、これは健康、教育、尊厳、収入、差別のすべてに関わる問題です。

私たちが活動する地域では、生理用品を日常的に使えない女性があります。布を使い回す人もいます。交換する場所がない人もいます。洗うための水や石けん、乾かす

ための場所が十分でない人もいます。漏れや匂いへの不安から、学校や仕事を休むこともあります。

さらに深刻なのは、生理が「汚れ」と結びつけられ、女性が差別的に扱われることです。

家の中に入れない。食事を作らせてもらえない。人前に出ることを避ける。誰にも相談できない。そうした習慣や空気が残る地域があります。

布ナプキンを作ることは、単に商品を作ることではありません。

女性たちが自分の身体について学ぶ機会をつくること。衛生について話すきっかけをつくること。自分たちの手で収入を得ること。都市部の消費者と農村部の女性をつなぐこと。そして、これまで恥や沈黙の中に押し込められてきたテーマを、尊厳のある言葉で語り直すことです。

私は、女性支援を「かわいそうな女性を助ける活動」として語りたくありません。

女性たちは、助けられるだけの存在ではありません。地域を変える力を持つ人たちです。子どもの教育、家庭の健康、地域の信頼関係、収入の使い方。多くの場面で、女性が力を持てば、地域全体が変わります。

だからこそ、結び手は女性たちを受益者としてだけでなく、作り手、働き手、担い手として位置づけています。

災害支援——支援は配って終わりではない

結び手は、災害支援にも取り組んできました。

インドでは、洪水、猛暑、感染症、失業など、生活を一気に崩す出来事が頻繁に起こります。特に貧困層にとって、災害は一時的な不便ではありません。住まいを失う、仕事を失う、借金が増える、子どもが学校を離れる、病気になる。そのまま貧困が固定化されることもあります。

災害時に食料や物資を届けることは必要です。しかし、私は「配って終わり」の支援には危うさも感じています。



支援を受ける側が、ただ待つだけの存在になってしまうと、長期的には力を奪ってしまうことがあるからです。だから私たちは、緊急時には必要なものを届けつつ、その

後にどう自立につなげるか、どう次の被害を減らすかを考えるようにしています。

土の家が洪水で壊れるなら、どう補強できるのか。家畜が死ぬことで家計が崩れるなら、地域内で小さな保険のような仕組みを作れないか。災害後に外部支援を待つだけでなく、地域の中で何を準備できるのか。

災害支援も、教育や女性支援とつながっています。

文字が読めれば、警報や制度の情報にアクセスできます。数字が分かれば、被害や支出を記録できます。女性が収入を持てば、災害後の家庭の立て直しにも力を発揮できます。地域に信頼関係があれば、支援物資の分配も不公平になりにくくなります。

一つの支援だけで、地域は変わりません。教育、収入、健康、住まい、災害対応、倫理観。これらはすべてつながっています。

調査事業——「ここに人がいる」と記録すること

結び手では、現場の生活実態を記録する調査事業も行っています。

なぜNPOが調査をするのかと聞かれることがあります。

理由は簡単です。記録されない人は、存在しないものとして扱われるからです。

路上で暮らす人。スラムで暮らす人。カーストや性別によって声を持ちにくい人。行政の制度から漏れている人。彼らは確かに存在しています。しかし、データや報告書に出てこなければ、政策の対象になりにくい。企業のCSRの対象にもなりにくい。社会の議論にも上がりにくい。

私たちは、グルガオンの路上生活者や都市貧困層、ピハールの女性の衛生状況、教育機会の不足など、さまざまなテーマで聞き取りを行ってきました。

あるとき、写真や動画を撮ってもよいか尋ねると、ある方がこう言いました。

「ぜひ撮ってほしい。外の人たちに、自分たちのような人間がこうして生きていることを知ってほしい」

この言葉は、私の中に深く残っています。

支援とは、物を届けることだけではなくありません。声を届けることも支援です。存在を記録することも支援です。社会から見えなくされている人たちを、「ここにいる」と示すことも支援です。

もちろん、調査には責任があります。人の苦しみを消費してはいけません。写真や言葉を使うときには、尊厳を守らなければなりません。相手の人生を、外から来た人間が勝手に物語化してはいけません。

それでも、記録しなければ、何も変わらない現実があります。

だから私たちは、現場に行き、話を聞き、数字を集め、言葉を残し、社会に伝える活動を続けています。

「希望」ではなく、「絶望ではない状態」をつくる

よく、「辛いことが多いと思いますが、福岡さんにとって希望とは何ですか」と聞かれます。

正直に言えば、私は希望という言葉を、簡単には使えません。



現場にいると、人間の良い面だけでなく、醜い面も見ます。差別、暴力、嘘、横領、汚職、裏切り、無関心。貧しい人が常に善人であるわけはありません。支援

する側が常に正しいわけでもありません。人間は複雑です。

教育を受けても、人は人を傷つけます。お金を持っても、人は差別します。制度を作っても、それを悪用する人がいます。

だから、私は「支援をすれば明るい未来が来る」とは言いません。そんな単純な話ではありません。

私がつくりたいのは、「絶望ではない状態」です。

頑張りたと思ったときに、最低限の道具がある状態。学びたと思ったときに、誰かが教えてくれる状態。困ったときに、相談できる人がいる状態。生まれた場所だけで、人生のすべてが決まらない状態。間違ったことを間違っていると言える状態。

それは、派手な希望ではありません。

でも、人が生きるためには、まずそれが必要です。

インド在住の日本人の皆さんに伝えたいこと

この原稿を読んでくださっている多くの方は、インドに住む日本人だと思います。

皆さんは、仕事、家族、子育て、生活、健康、安全、言語、文化の違いなど、それぞれに大変な日々を送っているはずです。インドで暮らすことは、決して簡単ではありません。停電、渋滞、暑さ、制度の違い、予測不能な出来事。日本では考えられないようなことが、日常的に起こります。

だから私は、「インドに住んでいるのだから、貧困問題に関心を持つべきだ」と上から言いたいわけではありません。

ただ、一つだけ共有したいことがあります。

私たちが暮らしているインドの便利さや発展は、見えない誰かの労働の上に成り立っています。

家を建てる人。道路を掃除する人。荷物を運ぶ人。野菜を売る人。皿を洗う人。警備をする人。家事を手伝う人。工場で働く人。彼らの多くは、私たちの生活圏のすぐ近くにいます。そしてその人たちは私たちと全く同じ人間です。

その人たちの子どもが、学校に行けていないかもしれない。文字を読めないかもしれない。生理用品を買えずに学校を休んでいるかもしれない。災害が起きたら、真っ先に生活を失うかもしれない。

これは、遠い国の問題ではありません。

私たちが今暮らしている、この国の足元にある問題です。

そして、だからこそ、私たちにできることもあります。

日本から遠く離れた国際協力ではなく、同じ街、同じ州、同じ国で暮らす隣人として関わることができます。

関わり方は、寄付だけではない

結び手では、活動を支えてくださる方を募集しています。

もちろん、寄付は大きな力になります。月々のご支援があれば、子どもたちの授業を継続できます。教材を作れます。先生に謝礼を払えます。女性たちの仕事を増やせます。災害時にすぐ動けます。

しかし、関わり方は寄付だけではありません。

企業のCSRとして、教育や女性支援のプロジェクトと一緒に作るすることができます。

現地視察に来て、実際に村やスラムの状況を見ていただくこともできます。

布ナブキンや女性たちが作った商品を購入し、周りの方に紹介していただくこともできます。

広報、デザイン、教育、調査、動画制作、翻訳、営業、ITなど、それぞれの専門性で関わることもできます。

お子さんと一緒に、インドの格差や教育について考える機会を作ることができます。

大切なのは、「自分には何もできない」と決めつけないことです。

社会課題への関わりは、特別な人だけのものではありません。大きな覚悟を持った人だけがやるものでもありません。できる範囲で、できる形で、少しずつ関わればいい。

ただし、一つだけ大事なことがあります。

関わるなら、相手を「かわいそうな人」として見ないことです。

支援する側が上で、支援される側が下ではありません。私たちは、同じ社会に生きる人間として、たまたま持っているものが違うだけです。お金を持っている人が、必ずしも偉いわけではありません。教育を受けた人が、必ずしも正しいわけではありません。

私たちが届けたいのは、哀れみではなく、機会です。

寄付は施しではなく、未来への共同投資

私は、寄付を「施し」だとは考えていません。

寄付とは、未来への共同投資です。

一人の子どもが文字を読めるようになる。その子が将来、誰かに騙されず、自分の名前を書き、仕事を選び、子どもに勉強を教えるようになるかもしれない。

一人の女性が収入を得る。その女性が家庭の中で発言できるようになり、娘を学校に通わせる判断をするかもしれない。

一つの地域で、汚職や暴力を当然としない教育が始まる。その地域から、将来、誰かを守る警察官や、誠実な先生や、弱い人を助けるリーダーが生まれるかもしれない。

もちろん、すべてが思い通りに進むわけではありません。支援には失敗もあります。現場では、計画通りにいかないことが多いです。人間関係の問題も起こります。お金の管理も難しい。文化の違いに悩むこともあります。

それでも、何もしなければ、何も変わりません。

私は、完璧な支援を約束することはできません。しかし、現場に行き、見て、聞き、考え、必要な修正をしながら、少しでも良い形に近づける努力は続けます。

そして、その過程を支援者の方々にできる限り共有していきたいと思っています。

それは、あなたの子どもだったかもしれない

私は活動地で子どもたちを見ていると、何度も同じことを考えます。



もし、この子が日本に生まれていたら、どうなっていたら
らうか。

もし、この子が安全な家に生まれ、学校に通い、毎日ご
飯を食べ、親や先生から「あなたはできる」と言われて
育っていたら、どんな人生を歩んでいたらうか。

逆に、もし自分の子どもが、この村に生まれていたら。

学校がなく、文字を読めず、働くことが当たり前で、差別
や暴力を身近に見ながら育っていたら。

そのとき、私は「努力しなさい」と言えるだろうか。

この問いから逃げないことが、私にとっての活動の出発
点です。

目の前の子どもは、たまたま他人の子どもとして生まれ
ただけです。けれど、別の偶然があれば、自分の子ども
だったかもしれない。自分自身だったかもしれない。

そう考えたとき、貧困や差別は、遠くのかわいそうな誰
かの問題ではなくなります。

それは、人間が人間をどう扱うのかという問題です。

最後に

結び手の活動は、まだ小さなものです。

世界を変えたなどとは、とても言えません。目の前には、
解決できていない課題の方がはるかに多くあります。学
校に来なくなる子もいます。家庭の事情で学び続けられ
ない子もいます。女性支援の商品が思うように売れない
こともあります。災害が起きれば、積み上げてきたものが
一瞬で崩れることもあります。

それでも、私は現場に立ち続けたいと思っています。

なぜなら、ある子どもが初めて自分の名前を書いた瞬間
を見たからです。

ある女性が、自分の作った商品が売れたと聞いて笑った
瞬間を見たからです。

ある母親が、娘には自分と同じ人生を歩ませたくない
と語った瞬間を聞いたからです。

ある路上生活者が、「自分たちの存在を外の人に知って
ほしい」と言ったからです。

その一つひとつは、小さな出来事です。しかし、人間の尊
厳は、そうした小さな出来事の中にあります。

インドで暮らす日本人の皆さんに、お願いがあります。

この国の発展だけでなく、その足元にいる人々にも、少
しだけ目を向けてください。

そして、もし何か感じるものがあれば、結び手の活動を
見てください。現場に来てください。商品を手に取って
ください。周りの方に話してください。寄付で支えてくだ
さい。企業として一緒にプロジェクトを作ってください。

大きなことを一人で背負う必要はありません。

ただ、見て見ぬふりをしない人が一人増えるだけで、現
場は確実に変わります。

私たちは、インドの貧困地域で、外部環境が原因で努力
できない人に機会を届け続けます。

それは、誰かを救うためだけではありません。

人間が人間を諦めない社会を、少しでも現実に近づけ
るためです。

そして、いつか本当に、誰もが明日を夢見て眠ることが
できる世界に近づくためです。

NPO法人結び手について

NPO法人結び手は、インド・ビハール州ガヤおよびハリ
アナ州グルガオンを中心に、教育支援、女性の自立支援、
災害支援、生活実態調査などに取り組む団体です。「外
部環境が原因で努力できない人をゼロにする」ことを
ミッションに、子どもたちへの基礎教育、尊厳教育、子
ども新聞の発行、女性たちによる布ナプキンやアップサイ
クル商品の製作、災害時の緊急支援、現場調査と発信
を行っています。

活動へのご寄付、CSR連携、商品購入、視察、ボランティ
ア・インターン参加などをご希望の方は、下記よりお問
い合わせください。

Webサイト : <https://www.musubite.org/>

インスタグラム : @musubite_org

お問い合わせ : info@musubite.org

プロフィール

福岡 洸太郎 (ふくおか・こうたろう)

NPO法人結び手 代表理事。1989年熊本県生まれ、愛
知県育ち。2014年東京大学文学部思想文化学科卒業。
卒業後、バックパッカーとして世界を周遊。日本の人材
会社勤務を経て、2018年にインドへ移住。人材会社勤
務、インド法人立ち上げ等を経験。コロナ禍に食料・医
療支援を行ったことを機に、2021年に結び手を設立。
2023年にインド現地法人Musubi-Te Foundationを設
立。現在はインドの貧困地域を中心に、教育、女性支援、
災害支援、調査事業に取り組んでいる。

寄付・支援・参画等ご希望の方、以下までお問い合わせください。 info@musubite.org

We are Sakura Town



日本の癒しがここに
ある
サクラタウンへようこそ



インド最大級の
大浴場が誕生！
サウナも完備！



日本人鍼灸師が
あなたのカラダとココロをケア
ありあけ堂鍼灸治療&マッサージ院

ご家族・カップル・お一人でも
朝から晩まで楽しめる、日本の癒しの空間へようこそ！

サクラタウン内には日本食レストラン、大浴場、プール、ゴルフシミュレーター、
そして日本人の運営する鍼灸治療院と美容院があり、あなたの1日を有意義に過ごせる空間です。



室内で快適な
ゴルフシミュレーター

屋内ゴルフシミュレーター



日本人スタイリストのいる
美容室BochiBochi

美容室BochiBochi



仲間で、家族で楽しめる
全自動麻雀テーブル完備

全自動麻雀テーブル

お問合せはSAKURA TOWN受付まで
+91-95995-58948 (英語)

✉ sakura.town@centralpark.in

📍 The Room, 2nd floor, Central Park2,
Sohna Road, Sector48, Gurugram 122001

Your home away from home in Delhi



AVALON COURTYARD

RESIDENCES & SUITES

会議、セミナー、麻雀、そして美食... アヴァロンで全部！！



日曜日の朝、心と身体を軽やかにさせようヨガを楽しみませんか

Sunday YOGA

6月からスタート！
メンバー募集中

日本人講師が日本語で丁寧に指導します
初心者もご安心ください

6月のスケジュール
7日・14日・28日 10:30am~11:30am

受講費：Rs.800
場所：Avalon Courtyard (パンケツルーム)

アムネーム
VYOM WellnessYoga School ダルガオン



www.avalonhospitality.com



フロントオフィスマネージャー

JATIN

☎ +91-87504-37378 (英語)

(LINE & WhatsApp可 / 英語での対応)

✉ gredelhi@avalonhospitality.com



セールス&ジャパンデスクマネージャー

澤江りか

☎ +91-99715-79109 (日本語)

(LINE & WhatsApp可)

✉ japan@avalonhospitality.com

閲覧大歓迎！！中・長期滞在の御相談お待ちしております。



- 活気あふれる街に佇む静かな隠れ家、調和と安らぎを追求したこだわりの設計
 - 広々とした客室と、温かく細やかな洗練されたおもてなし
 - スパ、プール、最新設備のフィットネスセンターを備えたウェルネス施設
 - バランスの取れたライフスタイルのための、厳選されたヘルシーなダイニング
 - Downtown Kitchen & Barで楽しむ週末: MeTime FiestaとFunday Fiesta
 - ビジネスからプライベートな集いまで、細部まで行き届いた上質なイベント会場
 - Marriott Bonvoyポイントの獲得と利用で、すべての体験にさらなる価値を
- 時の流れが緩やかになる、細部にまでこだわり抜いた洗練されたステイケーション

Courtyard by Marriot Gurugram Downtown

📍 Plot No. 27 B, B Block, Sushant Lok Phase I, Sector 27, Gurugram, Haryana
☎ 0124-488-8444 (英語)

ウィークデードリンクスペシャル 月曜日から金曜日まで、アルコールを含む全てのドリンクを30% 割引にてご提供いたします。

お仕事帰りのリラックスタイムに、ぜひご利用ください。

特別優待



自家製麺、始めました。

まだ「完璧」ではありませんが、毎日おいしくなっています。

「お客様に、美味しい麺を食べて元気になるってほしい」

そんなシンプルを想って、私たちは店内で麺を手作りしています。

正直に言います。

インドで日本の味をそのまま再現するのは、本当に難しいです。

今の麺は、日本で食べる味と100%同じとは言えないかもしれませんが。

それでも諦めず、毎日少しずつ調整しています。

完璧ではありませんが、「もっと美味しくしたい」気持ちだけは本気です。

成長途中のYUME JAPANの麺、ぜひ温かく食べてください。

THE YUME JAPAN GROUP

夢
シ
ヤ
パ
ン

飲んで、食べて、麻雀と。

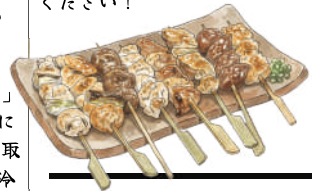
「仲間とゆっくり、卓を囲みたい」そんなお客様のお声に応え、店内に麻雀卓をご用意いたしました。気取ったお酒はございませんが、よく冷えたビールとハイボール、そして美味しいお料理はたっぷりございます。お仕事帰りに、肩肘張らずリラックスして楽しんでいただければ幸いです。親しい方との団らんには、ぜひご利用くださいませ。

正直、かなり無理しました(笑)

炭火で丁寧に焼いて、この値段。経営的には本当にギリギリです…！でも、皆さんに「安くて旨い！」と笑ってほしくて、意地で値下げしました。

- 2名様 (6本) : 500 Rs
- 4名様 (12本) : 950 Rs

今日は細かいことは気にせず、お腹いっぱい食べてってください！



褒めて頂いたのに、欲が出ちゃいました(笑)

「この鍋は美味しいね」と言われると、本当に嬉しいです。でも正直、それだけじゃ満足できなくて。「もっと面白くて、最高に旨い鍋を作りたい！」そんなわけで、厨房では毎日「実験」を繰り返しています。ちょっとユニークで、自信たっぷりの新作。ぜひ食べてみてください！



Contact numbers - +91-77270-11834 (YUME JAPAN GURUGRAM), +91-98211-32140 (YUME JAPAN MANESAR)
+91-99962-91831 (YUME JAPAN KHARKHODA), +91-81304-66565 (HOTEL DELUNA)

インド・アフリカ連携が築く「感染症対策の新時代」

戦うべき対象が多すぎるよね。

来週デリーで開催予定の「インド・アフリカ・フォーラム・サミット(India-Africa Forum Summit)」を前に、アフリカ連合(African Union)は、コンゴ民主共和国やウガンダを含む複数のアフリカ諸国で発生しているエボラ出血熱の流行に対応するため、「国際社会による連帯と協力」が必要であると呼びかけた。



アフリカ連合委員会(African Union Commission)議長報道官のヌール・モハムド・シェイク(Nuur Mohamud Sheekh)氏は、「The Hindu」の取材に対し、今回のサミットは「将来のパンデミック」や対応メカニズムについて議論を進める機会になるとの認識を示した。

「エボラ出血熱の流行が複数のアフリカ諸国に影響を及ぼす中、パンデミックや公衆衛生上の緊急事態は国境を越えるものであり、国際社会による集団的な連帯と協力が必要である」

アフリカ連合の声明は、世界保健機関(WHO)がコンゴ民主共和国およびウガンダにおけるエボラ出血熱の流行について、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(Public Health Emergency of International Concern=PHEIC)」を宣言した翌日に発表された。

これに先立ち、アフリカ連合委員会議長のマフムード・アリ・ユスフ(Mahmoud Ali Youssouf)氏は、今回の流行に深い懸念を表明し、「団結、連携、そして集団行動」を通じて、アフリカはこの新たな課題を「乗り越える」と述べていた。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行時にアフリカ諸国と協力関係を築いたインドは、5月28日から31日にかけて、第4回「インド・アフリカ・フォーラム・サミット(India-Africa Forum Summit=IAFS-IV)」を開催する予定であり、アフリカ連合加盟国の参加が見込まれている。

インド外務省(Ministry of External Affairs)は、今回のエボラ流行が同サミットに及ぼす影響について言及していない。

一方、冒頭のシェイク氏は、現時点では今回の流行がサミットに影響を及ぼす可能性は低いとの見方を示した。その上で、同サミットは「公衆衛生体制、バイオテクノロジー、製薬製造、パンデミック対応などの分野を含む、アフリカとインドの協力強化に向けた重要なプラットフォーム」となるとの認識を示した。

その上で、「将来のパンデミックや保健危機に対応できる強靱な医療システムを構築する上で、インドとのより深い協力や知識共有は、アフリカにとって極めて大きな利益をもたらさだろう」と述べた。

インドは低価格な医薬品やワクチンの製造力を持ち、アフリカ諸国はエボラ出血熱など感染症対応の現場経験を有している。

両者が協力することで、ワクチン供給、感染症監視、医療人材育成、緊急対応体制などを強化できる可能性がある。

また、将来的なパンデミックに対して、西側諸国の供給網に過度に依存しない医療・保健ネットワークを形成できる点も、大きな戦略的意義といえる。

インド、KitKat世界最大市場に: ネスレ発表

このこにしるチョコパイにしる、日本で売っているものと味が違うんだよね。

インドが、スイスの食品大手ネスレ(Nestlé)の看板商品である「KitKat(キットカット)」において、世界最大の市場となったことが、同社の発表により明らかになった。

85か国以上で販売されている同ブランドにとって、インド市場の重要性がますます高まっていることを示している。

これにより、KitKatは「Maggi(マギー)」に続き、ネスレの製品ポートフォリオの中で、インドが世界最大市場となった2番目のブランドとなった。

KitKat市場としてのインドは10年前、世界10位に位置していた。

報道によれば、日本、ブラジル、欧州なども主要市場に含まれている。

同社は、主力帯からプレミアム帯まで幅広い商品展開を進めている。

「ギフト市場向けには『KitKat Celebreat』、軽食向けには『KitKat Pops』を投入した。また、塩キャラメルやヘーゼルナッツなどを含む『KITKAT Delights』シリーズを発売し、プレミアムポートフォリオを強化した。さらに、『KITKAT DUO』や『KitKat Lemon and Lime』など、主力帯の商品イノベーションも進めた」と同社は説明している。

さらにネスレ・インドは、広告投資を大幅に拡大。ブランド価値向上を目的とした各種パートナーシップやキャンペーンも展開している。

同社によれば、visicooler programme※への投資も、都市部・農村部の双方で成長を加速させ、新製品展開を支える重要な役割を果たしているという。

ネスレ・インドは2024～25年度(FY25)の年次報告書において、国内のチョコレートカテゴリ内で市場シェアを倍増させ、最も急成長したブランドとなった結果、KitKatの販売本数が39億5,000万本に達したと報告している。

また、「Maggi」ブランドについても、インドは世界最大市場となっており、50億食以上が販売された。

KitKatは1930年代に英国の菓子メーカー「Rowntree's(ラウントリーズ)」によって誕生した。

1988年にスイスのネスレが同社を買収したことで、KitKatもネスレ傘下に入った。

ただし、米国では現在も「Hershey Company」がライセンス生産を行っている。

※visicooler programme: 主に店舗向けに設置されるガラス扉付き冷蔵ショーケース(visicooler)の導入・展開プログラム。商品の保存と視認性向上を目的とする。



Yoko Deshmukh
(デシュムク陽子)

asksiddhi - インドをもっと知ろう インド・ブネ在住の英日・日英翻訳者、デシュムク陽子のブログ

インド・ブネ在住歴10年以上の英日・日英フリーランス翻訳者、デシュムク陽子(Yoko Deshmukh)が運営しています。2003年9月30日からインドのブネに住んでいます。本ブログ「ASKSiddhi(アスクスィディ)」は2003年8月より翻訳の訓練を兼ね、インド情報を中心にほぼ毎日更新。ASKSiddhi(アスクスィディ)は、インド・ブネのソフトウェア会社 ShimBi Labsが開発し、プログラミングの知識がなくても誰でも簡単にオリジナルなブログを構築できるソフトウェア、「Budo」を使って更新しています。

インド・パルシー



山田幸彦

浜松出身。10年以上、デリー・ケルガオンで金融・会計・観光・農業・コンサル業・通訳・翻訳業務に携わり、2023年より大阪府在住。

ミルクに溶けた一掴みの砂糖——インド・パルシーが歩んだ一千年の「調和と生存の哲学」



世界最古の一神教の一つであり、かつてササン朝ペルシヤ (Sasanian Empire: 西暦224年～651年) の国教として栄華を極めたゾロアスター教 (Zoroastrianism)——別名・拝火教。東の中国 (隋・唐)、西のローマ帝国と並び立つ超大国としてオリエント世界に君臨したこの帝国の信仰は、歴史の荒波に揉まれながらも、ペルシヤから遠く離れたインドの地で一千年以上もの間、絶えることなく静かに、しかし力強く燃え続けています。

インドにおけるゾロアスター教徒「パルシー (Parsi)」の歴史は、激動の時代ごとに生存戦略を見事に転換させ、独自の純血主義や食品タブーに裏打ちされた哲学を守りながら、マジョリティであるヒンドゥー (Hindu) 社会と一度も流血の衝突を起こさずに平和な共存を成し遂げた、奇跡的な亡命物語です。

1. 漂着と最初の約束: 社会を溢れさせない「砂糖」として



パルシーの歴史は、7世紀にササン朝ペルシヤがイスラム勢力に征服されたことで、劇的な幕を開けました。ササン朝は長年の宿敵ビザンツ帝国との戦いで疲弊し、内乱も重なって国力が衰退していたところへ、急速に台頭したイスラム軍の侵攻を受けました。西暦642年の「ニハーヴァンドの戦い」で決定的な敗北を喫し、651年に最期の皇帝ヤズデギルド3世 (Yazdegerd III) が暗殺されたことで、帝国は完全に滅亡しました。

この大転換期に、イスラムの法に妥協して改宗する道を選ばず、信仰の純粋性を守るために全財産と故郷を捨てた一団がいました。彼らは、帝国の発祥の地であり正統なる中心地であったペルシヤのパルス (Pars) 地方を脱出し、海路でインド西岸のグジャラート (Gujarat) 地方へ命がけの航海に出ました。「パルシー」という名は、この「パルス地方出身の人々」という意味に由来します。

2. 故郷ペルシヤからの脱出と航海

イスラム勢力の拡大に伴い、ゾロアスター教徒たちは信仰を守るために長年住み慣れたペルシヤ (現在のイ



ラン)の地を離れることを決意しました。彼らは海へと乗り出し、困難な航海の末にインド西海岸のグジャラート地方へと辿り着きました。

3. インドへの漂着と「サンジャン」の誕生



インドの地に降り立った彼らは、地元のエンドゥー王から正式に定住を許されました。この運命の瞬間の地で、教徒たちは自分たちの故郷 (ペルシヤ・ホラーサーン地方 [Khorasan] にあった「サンジャン [Sanjan]」) という町を深く懐かしみ、定住の地にも同じ「サンジャン [Sanjan]」という名をつけました。これが、のちにインドで独自の発展を遂げる「パルシー [Parsi)」の歴史の始まりとなります。

4. 後世における歴史の記録 (1599年～1600年頃)



移住から数百年が経過した1599年 (1600年頃)、パルシーの司祭であったバフマン・カイコバド (Bahman Kaikobad) の手によって、この渡来の記憶が初めて文字として書き残されました。それが、古典ペルシヤ語の叙事詩 (韻文) として記録された『サンジャン物語 (Qissa-i Sanjan)』です。

現地のヒンドゥー教の王ジャディ・ラーナ (Jadi Rana) は、言葉も文化も異なる難民の一団を前に、口元までなみなみと注がれた「一杯の牛乳」を差し出しました。「我が国は民で満ちており、諸君を受け入れる余地はない」という無言の拒絶でした。

これに対し、パルシーの司祭は、その牛乳の中に「一掴みの砂糖」をそっと落としました。砂糖は牛乳を溢れさせることなく見事に溶け込み、むしろ牛乳全体を甘く、美味しく変えました。このとき司祭が語った誓いは、後に英領インド時代を経て、洗練されたイギリス英語 (British English) の定型表現として定着することになります。

"We shall be like sugar in a full cup of milk, adding sweetness to it but never causing it to overflow." (私たちは、なみなみと注がれた一杯のミルクに溶ける砂糖のようになりましょう。ミルクに甘みを加えることはあっても、決してそれを溢れさせることはありません)。

現在でも英語圏では、美しい調和の姿を "Like sugar in milk" (ミルクの中の砂糖のように) という定型句で表現します。この賢明・聡明な誓いに感銘を受けた王は、彼らに定住を許しました。控えめに見えても確かな存在であると言う意味が含まれていると思います。

その際、パルシー側は「現地語(グジャラート語)の習得」「現地の服装(サリー等)の着用」「武器の放棄」「他宗教のインド人を絶対に改宗(布教)させないこと」という厳格な条件を受け入れました。彼らの内向きな「排他性(布教の禁止)」は、マジョリティを脅かさないと最大限の安心材料となり、無数のジャーティ(Jati:カースト)がモザイク状に共存するインドの世界観の中に、一種の「新しいカースト」としてスムーズに組み込まれることになったのです。

5. 英領インド時代:仲介者としての台頭と経済的飛躍



インドの地に深く根を下ろしたパルシーは、母国語をベルシャ語から「パルシー・グジャラート語」へと切り替え、サンジャンに安置された最初の聖火「イラン・シャー (Iran Shah)」をウドワダ(Udvada)の地で絶やすことなく燃やし続け、独自のアイデンティティを確立していきました。

彼らの歴史が第二の劇的な転換期を迎えたのは、17世紀以降の英領インド時代です。イギリスがボンベイ(Bombay:現ムンバイ)の開拓を始めると、インド固有のカースト制度の制約に縛られないパルシーは、高い教育水準と柔軟性を武器に、イギリス人とインド民衆を結ぶ「中間的な仲介者」として急速に台頭しました。

パルシーは、造船や綿紡績、さらには東インド会社(East India Company)を通じて、天文学的な富を蓄積していきます。タタ(Tata)家やワディア(Wadia)家、そしてバグダッド出身のユダヤ系豪商であり「東洋のロスチャイルド」と称されたサスーン(Sassoon)家などと協力し、中国との茶・アヘン貿易で巨万の富を築くエリート(Elite)商人階級が誕生したのはこの時期のことです。

※ちなみに、この時代に活躍した豪商サスーン家と、20世紀にファッション界で革命を起こした高名な美容師ヴィダル・サスーン(Vidal Sassoon)の間に直接の血縁関係はありません。「サスーン(Sassoon)」とはヘブライ語で「喜び」「歓喜」を意味する一般的な姓であり、日本でいう「佐藤さん」や「鈴木さん」のように、同じルーツの姓

を持つ全く別の二つの家族が、それぞれの時代で偉大な足跡を残したという歴史の興味深い偶然です。

パルシーが蓄えた富は、彼らの信仰の根幹である三徳——「善思(Humata)」「善言(Hukhta)」「善行(Hvarshta)」——に基づき、惜しみなくインド社会へと還元されました。

ゾロアスター教の教理の根幹をなすこの三徳は、聖典の古代言語であるアヴェスター語でHumata(Good Thoughts/善思)、Hukhta(Good Words/善言)、Hvarshta(Good Deeds/善行)と称されます。イギリスの学術界や文化的論壇においても、この三位一体の倫理観は一貫してこの格調高い英語で表現され、パルシーたちが数世紀にわたり実践してきた社会貢献と慈善活動(Philanthropy)の確固とした精神的原則となっています。



ジャムシエトジー・タタ(Jamsetji Tata)を筆頭とする実業家たちは、私財を投じて病院、大学、近代産業インフラを設立し、パルシーはインド社会において国全体の国力を引き上げる「与える存在」としての地位を不動のものとしたのです。



政治の舞台においても、彼らは黎明期のインド国民会議(Indian National Congress)派を支え、ダーバハイ・ナオロージー(Dadabhai Naoroji)などの偉大な指導者(Leader)を輩出し、インド独立運動を思想的・経済的に牽引しました。

3. 独立から現代:生存のための戦略的転換とパラドックス
1947年、インドが激動の独立を迎えると、パルシーは再び驚くべき生存本能を表します。彼らはそれまでの目立つ政治的関与をあえて控え、「ビジネスを通じた社会貢献と実利的な影響力の維持」という姿勢の方針へと戦略的にシフトしました。活動の基盤をムンバイやグジャラート地方、あるいはデリーの「デリー・パルシー・アンジュマン(Delhi Parsi Anjuman)」に置き、経済の主導権を握り続けたのです。

しかし、現代のパルシーは、そのあまりにもストイック(Stoic)な哲学ゆえの「内なる危機」に直面しています。

同じゾロアスター教の信仰を持ちながらも、過酷な歴史的分岐点によって「イランに残る道」と「インドへ渡る道」に分かれた二つの集団は、その後の社会環境の違いによって、以下のように対照的な生存形態を形作るようになりました。

① 社会的位置付けの対比:少数派としての逼塞と、経済エリートとしての飛躍

故郷に留まったイランの信徒(イラニ:Irani)は、圧倒的なマジョリティであるイスラム社会の海の中で、法的に「守られるべき」とされるものの、実質的には権利を制限された極めて地味な少数派(マイノリティ)として生きていくことを余儀なくされました。彼らは社会の主役になることはなく、信仰の灯火を消さないために、目立たぬよう息を潜める生存戦略をとったのです。

これに対して、海を渡ったインドの信徒(パルシー)は、多宗教社会のインドにおいてカースト制度の隙間に入り、近代化を牽引する「特権的な経済エリート」としての地位を確立しました。

② 婚姻規範の対比:環境がもたらした「リベラル」と「厳格な純血主義」

イスラム体制下で常に人口減少の危機に晒されてきたイランのイラニは、婚姻に対して「比較的リベラル」な姿勢を取り、片親(特に父親)が信徒であれば子供の入信を容認するなど、枠組みを広げる選択をしました。

皮肉なことに、インドで富と地位を手に入れたインドのパルシーは、全く逆の道を進みました。彼らは自らの富や特権、そして「神の聖なる火を宿す神殿」とみなされる血統を外部に薄められないよう、「厳格な父系純血主義」を千年間貫いたのです。伝統的な慣習法では、他宗教の男性と結婚した信徒女性はコミュニティから冷酷に排除され、その子供もパルシーとしては絶対に認められないという、極めて峻烈な内婚制を維持し続けました。

③ 直面する課題の対比:外部からの「抑圧」と、内部からの「消滅の危機」

イランのイラニが直面しているのは、現在もなお続く「イスラム体制下の法的・社会的制約」という外部からの抑圧です。

一方で、インドのパルシーが直面しているのは、自らが課したルールによる内部からの危機です。富裕層ゆえの晩婚化や未婚率の高さに加え、異宗婚を認めない頑な

な伝統主義が災いし、コミュニティの人口は現在、数万人規模にまで急減しています。リベラル(改革派)の知識層からは女性やその子供の権利を容認する改革の動きも生まれていますが、伝統派は「数を増やすために血統を汚すくらいなら、純粋なまま消滅する方が神の御心に適う」という厳格な教条主義を崩しておらず、「血統の維持か、宗教としての存続か」の瀬戸際で激しく揺れ動いています。

結論:激動を生き抜く「甘き砂糖」の証明

一神教の全方位的な法が社会を規定するイランにおいて、残された信徒たちが時に耐え忍びながら信仰を繋いできたのとは対照的に、インドのパルシーは、多様性の海の中で自らの立ち位置を共存可能な調和を保ち生き延びてきました。

彼らの食卓を見れば、その共存の知恵がよく分かります。断食を「生命への冒瀆」として禁忌、活力を得るために肉食を認めるゾロアスター教でありながら、彼らは周囲のヒンドゥー社会へ配慮して牛肉を食べることを厳格に避け、現地のベジタリアン(Vegetarian:菜食主義)文化を柔軟に取り入れてきました。外部に対してどれほど排他的な婚姻ルールを持とうとも、それを決して他者に押し付けることはなく、むしろインドの近代化のためにノーブレス・オブリージュ(高貴たる者の義務)を体現し続けました。

だから、周囲のインド社会は彼らを差別するどころか、「これほど知的で社会に貢献しているコミュニティを失ってはならない」と、深いリスペクト(Respect)との思いを抱いていると思います。

数々の歴史的試練や、現代における人口減少という存続の危機を抱えながらも、パルシーが今なおインド社会の中での洗練された経済エリートとして、そして平和に尊厳を持って生き延びているという現実。千年前のあの日に器に落とされた一掴みの砂糖が、今もなおインドという大なるミルクの豊かさの一部になり続けていると言えるでしょう。

発行部数
6,000部/毎月

最大の信頼を

お住まい & 商業スペース探し

インドでの快適なお住まい、
環境づくりをサポート。

インド進出をご計画の皆様へ、
ご要望に沿った物件をご提供します！



お引越しサービス

新しい家、新しい場所へ。転居をご計画の方へ。

- * 物流ソリューション
- * 家財道具輸送
- * 国際転居
- * オフィス・工場の移転
- * ペット輸送
- * 車両輸送
- * 備品記録マネジメント
- * 国内転居
- * 倉庫提供

大切なお荷物をスムーズにお届けします。

ご提供サービス



サービスアパートメント



ドライバー付レンタカー



FRRO/FRO全般お手続きサポート



ツアーパッケージご手配



MobiRelo Technology for Everyone

formulaindia.co.jp



お問い合わせはお気軽に私たちジャパンデスクまで！



長谷川 大海
日本



イシャ ヴィドワンス
ムンバイ



土橋 美由紀
デリー-NCR



ドットリチカ スダン
デリー-NCR



ヴィディ ジェーン
デリー-NCR



タンヤ エーブル
デリー-NCR



シュリシיתי モハンティ
デリー-NCR

お問い合わせ: [日本語可] +91-99100-13038, +91-96502-99556 | [英語] +91-98181-97782

Eメールアドレス: enquiry@formulaindia.com | ウェブサイト: www.formulaindia.co.jp

デリー | グルグラム | ムンバイ | ブネ | ベンガルール | チェンナイ | ハイデラバード | アーメダバード | スーラト



PRESTIGE INTERNATIONAL

インドでの病院受診は ジャパニーズヘルプデスクへ

- ・医療費キャッシュレス
- ・病院予約/院内アテンド
- ・医療通訳
- ・健康診断/予防接種など

各種アレンジ可能

ご相談、受診ご連絡は下記までお願いいたします。

インドでの病気やケガの際には、
私たち、ジャパニーズヘルプデスクにお電話ください！

私たちは日本人の皆様が、安心して病院受診ができるよう
「日本人向け医療サポート」を行っております

◆◆サポート内容◆◆

病院紹介、予約、院内同行、医療通訳、お薬手配
健康診断や予防接種のアレンジ等々



ご予約・お問い合わせ(日本語受付/24H) (+91)

グルガオン : 981-090-0685	バンガロール : 725-910-9670
デリー : 981-847-1190	ムンバイ : 987-039-2731
チェンナイ : 887-035-0518	アーメダバード : 989-843-0589
ニムラナ : 987-039-2734	シタプール : 989-843-0589

海外旅行保険加入で保険対象の場合は医療費のキャッシュレスサービス（弊社で医療費を立替、保険金請求）、通訳や院内アテンドを提供します。サポート費用も保険金請求できますので現地でのお支払いも不要です。

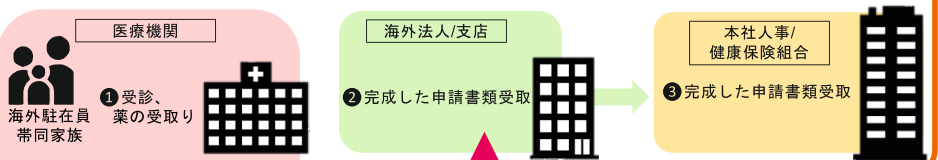
保険未加入、及び保険対象外の場合でも同様に受診アレンジや通訳同行サービスをご利用頂けます(有料)。医療費用はご実費でお願いいたします。

日本人スタッフも病院常駐しています

更に！！

上記サポート費用※が無料になる会員制度（メディカルサポートプログラム）をご用意しております。

▼メディカルサポートプログラムの加入では、



会員様へ全ての受診において
提携先医療機関での通訳、
アテンドをさせていただきます

海外メディカル
サポートプログラム

診察予約

症状をお伺いし、
専門医の予約を
いたします。

来院

日本語通訳士が院
内をアテンドしてい
たきます。

診察

診察時に通訳が
必要場合は、
ご依頼ください。

検査/薬

検査のご案内、
処方薬のご用意を
いたします。

再診予約

最後に再診予約の
日時を確認し
お伝えします。

保険請求

弊社がサポート
いたします。

いつでもお気軽に
お問い合わせくだ
さい。

利用できる主な医療機関のご紹介

【グルガオン】フォルティス【デリー】レインボーテルドレンズ【チェンナイ】アポローエムアル【バンガロール】サクラワールド
【ムンバイ】ヒランダニ【アーメダバード】ザイダス【シタプール】ザイダスシタプール【ニムラナ】ニムラナクリニック
他の提携先病院はHPよりご確認くださいませ <https://www.jhelppdesk.in/india-hospital-reservation/>



提供

P.I.PRESTIGE INTERNATIONAL India Pvt.Ltd.
PLOT NO. B-64, 3RD FLOOR, SUSHANT LOK I, GURGAON-122002, HARYANA

<お問い合わせ先>

TEL : +91-124-4112272
Email : jhd-ind-ho@Prestigein.com



インド在住日本人のための、 信頼の歯科クリニック

クリニックのビジュアル・ストーリー

精密な歯科治療を、快適さと心のこもったケアと共に

- 最新のデジタル歯科診療
- 衛生的で落ち着いたプレミアムな環境
- 治療への不安を和らげる空間設計
- 国際基準の滅菌管理

最新技術を駆使した、
痛みの少ない患者様第一の治療



Dr. Rahul Raj
補綴歯科医&
インプラント専門医



Dr. Sonam
口腔内科医&
放射線科医



Dr. Supreet Kaur
歯茎の専門医&
インプラント専門医



Dr. Rohit Singh
口腔内科医&
口腔外科医



Dr. Priya Jain
歯髄内科医



Dr. Anoop Singh
矯正歯科医
(インビザライン認定医)

経験豊富な 専門医チーム

高度でパーソナルなケアを
提供するスペシャリスト集団



総合的な歯科ケアを、 ひとつの場所で

- ガイド付き&
非ガイド付きインプラント
- 根管治療
- 歯列矯正 (インビザライン)
- 審美歯科 & スマイル・
メイクオーバー
- ホワイトニング &
ラミネートベネヤ
- フルマウス・リハビリテー
ション (全顎治療)
- 小児歯科



当院が選ばれる理由:

- 英語対応可能で、国際的な研鑽を積んだ歯科医師
- 丁寧なカウンセリングと透明性の高い診断
- 精密さ、審美性、そして長期的な治療結果へのこだわり
- 快適でストレスのない体験とスムーズな予約管理



マナン・アガルワル
(Manan Agarwal)

✉ manan.agarwal@krayman.com



佐竹真紀

✉ maki.satake@krayman.com



松田浩
日本公認会計士

✉ hiroshi.matsuda@krayman.com



アंकフル・ベイロリア
(Ankur Bairoliya)

✉ ankur.bairoliya@krayman.com

インドで事業をしている日本企業が「恒久的施設 (PE)」とみなされるリスクについて

はじめに

日本企業は、自動車、電機、エンジニアリング、商社、物流、金融サービス、グローバル・ケイパビリティ・センター (GCC) など、さまざまな分野でインドへの投資を進めています。

インドでの事業拡大に伴い、現地法人の設立、駐在員事務所、技術支援サービス、調達拠点の設置、駐在員の派遣などの形で事業を展開するケースが増えています。

このような状況の中で、「恒久的施設 (PE: Permanent Establishment)」に該当するかどうかという論点は、国際税務の観点からますます重要になっています。PEリスクがある場合、そのインドでの事業活動に帰属する利益に対してインドで課税される可能性があります。そのため、インドで事業を行う、またはインドと取引を行う日本企業にとって、PEリスクを正しく理解することは非常に重要です。

恒久的施設 (PE) の理解

国際税務の原則では、恒久的施設 (PE) とは一般的に、外国企業が他国において事業活動の全部または一部を行うための「固定された事業拠点」を指します。インドにおけるPEの規定は、主に以下によって定められています：

- 所得税法 (Income-tax Act) の国内規定
- 日印租税条約 (India-Japan DTAA: 二重課税防止条約)
- 裁判例およびOECDガイドライン

日印租税条約では、PEの成立要件および、そのPEに帰属する利益に対する課税について詳細に規定されています。

日本企業に関連する主なPEの種類

1. 固定的施設PE (Fixed Place PE)

固定的施設PEとは、日本企業がインドにおいて、事業活動を行うための「一定の場所 (拠点)」を有している場合に成立するPEを指します。例えば、支店、プロジェクトオフィス、基幹業務に使用される倉庫、工場、作業場などが該当します。

日本企業では、以下のようなケースで固定的施設PEリスクが生じることが多くあります：

- 日本本社の従業員がインド子会社のオフィスを継続的に使用している場合
- 技術者がインドの顧客先で長期間にわたり業務を行っている場合
- 調達業務や品質管理業務をインド国内で実施している場合

2. サービスPE (Service PE)

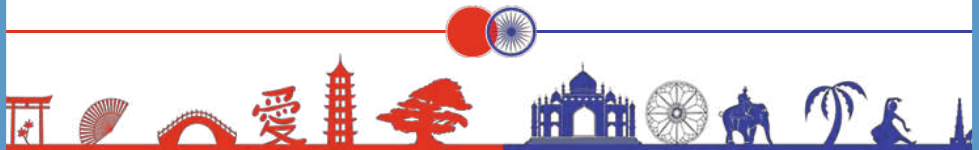
サービスPEとは、日本企業の従業員やその他の人員がインド国内で一定期間にわたりサービスを提供する場合に成立し得るPEを指します。

例えば、技術サポート、マネジメントサポート、コンサルティングサービスなどが含まれます。

3. 依存代理人PE (Dependent Agent PE: DAPE)

DAPEとは、インド国内にいる個人または法人が、常態として以下のような役割を果たしている場合に成立し得るPEを指します：

- 外国企業 (日本企業) の代理として契約を締結している場合
契約締結につながる主要な役割 (実質的な交渉・成立への主導的関与) を担っている場合



- 契約書上は日本で署名されている場合であっても、インド税務当局は実質的な業務内容を重視して判断し、DAPEの存在を主張する可能性があります。
- 親会社による過度な指揮・管理の下で事業運営が行われている場合
このような状況では、形式上は独立法人であっても、税務上は親会社のインドにおけるPEとみなされる可能性があります。

インドにおける日本企業の主なPEリスク領域

1. 駐在員・出向者 (Expatriate Employees and Secondment Arrangements)

日本企業は、業務管理、技術移転、経営監督などを目的として、駐在員をインド子会社へ派遣するケースが多く見られます。

以下のような状況ではPEリスクが高まります：

- 駐在員が実質的にインド子会社ではなく、日本本社のために業務を行っている場合
- 駐在員の人件費がインド側に振り替え(リチャージ)されている場合
- 戦略的な意思決定が日本企業側の駐在員によって行われている場合

このような場合、税務当局は駐在員の活動を根拠に、サービスPEまたは固定的施設PEが日本企業に存在すると主張する可能性があります。

2. 駐在員事務所 (Liaison Office) の活動範囲逸脱

インド準備銀行 (RBI) の許可に基づく駐在員事務所は、一般的に準備的・補助的な活動に限定されています。

しかし、以下のような活動が行われる場合、PEリスクが生じる可能性があります：

- 商業交渉への関与
- 受注の獲得(契約獲得活動)
- 収益に直接つながる業務の実施
- 意思決定権限の行使

インド当局は、駐在員事務所が許可された範囲を超えて事業活動を行っていないかについて厳格に監視しています。

3. インド子会社を“拡張された事業部門”として使用するケース

多くの日本企業グループは、100%出資のインド子会社を通じて事業を展開しています。子会社は法的には独立した法人ですが、以下のような場合にはPEリスクが生じる可能性があります：

- 子会社が実質的に親会社の依存代理人 (Dependent Agent) として機能している場合

Pe認定による影響

インドにおいてPEが認定された場合、以下のような影響が生じる可能性があります：

- 帰属利益に対する課税
- 移転価格コンプライアンス
- 源泉徴収税の影響—インドの顧客は、日本企業への支払いに対して源泉徴収を行う必要がある場合があります。
- 延滞金、罰金、および訴訟
- 税務調査および審査の強化

インドにおける司法・税務上の傾向

インドの裁判所および税務当局は近年、以下の点をより重視する傾向を強めています。形式より実質 (substance over form)、インドにおける事業活動の機能的分析 (functional analysis)、従業員および代理人の実際の行動、外国企業による支配・管理の程度、ならびにインド子会社が事業創出に果たす役割。

日本企業のためのリスク低減 (PE対策) 戦略

1. 機能的明確な分離 (Clear Functional Delineation)

日本の親会社とインド子会社の役割・責任は、明確に区分されている必要があります。また、インド子会社が日常的な業務運営において独立して意思決定・管理を行っていることを確保することが重要です。

2. 強固なグループ間契約

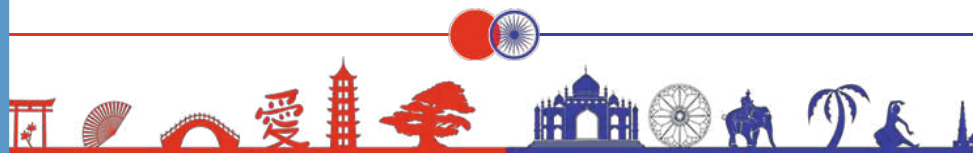
(Robust Intercompany Agreements)

グループ企業間では、サービスの範囲、権限の制限、利益配分、価格設定 (移転価格)、その他関連条項を明確に定めた体系的な契約書および文書を整備する必要があります。

3. 従業員の滞在状況のモニタリング

(Monitoring Employee Presence)

インド滞在期間、提供されるサービスの内容、報告ライン (レポートング構造) については、定期的にモニタリングする必要があります。これは特に、サービスPEの判定において重要なポイントとなります。



4. 契約締結権限の制限

(Limiting Contract-Concluding Authority)

インド側の人員が、外国企業を代表して契約を最終的に締結することは避けるべきです。

5. 業務・ガバナンスの明確な分離ポリシー (Segregated Policies)

子会社のガバナンスおよび日常業務運営については、明確に分離された方針を導入することが重要です。具体的には、従業員規程、リスク管理、与信管理、IT、営業、購買、贈収賄防止などの各分野において、独立した運用ルールを整備する必要があります。

6. 価格決定の管理 (Pricing Control)

価格設定は日本の親会社が直接コントロールすべきではありません。親会社が価格決定を支配している場合、インドにおいて中核的な商業上の意思決定が行われていると判断される可能性があり、その結果としてPEリスクが高まる可能性があります。

7. 定期的なPEリスク評価

(Regular PE Risk Assessments)

定期的な税務ヘルスチェック(Tax Health Check)を実施することで、以下の点を早期に把握することが可能になります：

- 新たに発生し得るPEリスクの兆候
- 税務ポジションに影響を与える業務上の変更点
- 証憑・契約書などのドキュメンテーション上の不備やギャップ

8. 移転価格ポリシーとの整合性

(Alignment with Transfer Pricing Policies)

Peの分析は、以下の要素と整合している必要があります：

- FAR分析(機能・資産・リスクの分析)
- 移転価格文書(Transfer Pricing Documentation)
- グローバル税務ストラクチャー(グループ全体の税務構造)

これらが一貫していない場合、税務当局からPEリスクや利益配分の不整合を指摘される可能性があります。

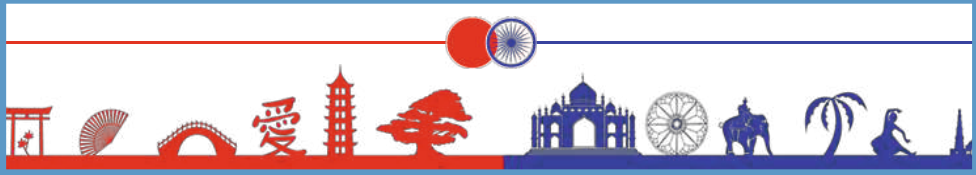
結論

インドで事業を展開する日本企業にとって、恒久的施設(PE)リスクは国際税務上、最も重要な論点の一つです。インドが税務執行を強化し、国際的な租税回避防止の枠組みに沿った対応を進める中で、企業は自社の事業構造、駐在員の配置、グループ会社間取引などを慎重に評価する必要があります。

PEリスクを最小化し、将来的な税務紛争を回避するためには、法務・税務・移転価格・オペレーションの各領域が連携したプロアクティブな対応が不可欠です。

適切なガバナンスおよびコンプライアンス体制を構築した日本企業は、税務リスクを適切に管理しながら、インド市場における持続的な成長を実現することができます。

クレイマンに関しまして: KrayMan Consultants LLP (KrayMan) は、グルグルに本社を置き、インド全土の日系クライアントにサービスを提供している会計・アドバイザーファームです。インド進出、会計、保証、税務、規制、トランザクション・アドバイザー、M&A、法務、人事・給与サービスなどに特化しています。私たちは、勅許会計士(CPA)、会社秘書、弁護士、MBAで構成されるプロフェッショナルチームです。詳細については、弊社ウェブサイト www.krayman.com/jp をご覧ください。サポートが必要な場合は、communications@krayman.com までご連絡ください。



発行部数
6,000部/毎月



www.urbangreyfurniture.com

- ISO認証取得企業
- AIOTA認証取得企業
- BIFMA認証取得企業

URBANGREYSのカスタム家具ショップで あなたの空間を変身しましょう

当店のサービス

- オフィス・企業向け家具
- ホスピタリティ家具
- 学校・教育向け家具
- 病院向け家具



Urban Grey Furniture Industries

📍 Plot No. 590, Sector 8, Manesar, Gurgaon -122050

☎ +91-124-4477990, +91-987-1145512 (英語) ✉ projects@urbangreyfurniture.com

その他の場所 : Delhi | Ranchi | Chandigarh



**フォーミュラグループは、皆さまにとって
なくてはならぬ存在となれるよう
心をこめたサービスをお届けします。**

お住まい & 商業スペース探し

FORMULAの最新アプリ「MobiRelo」からお探しいただけます。信頼のアフターサービスで、充実したインド生活を。



サービスアパートメント

デリー、ガルグラム、ムンバイ、スーラト、アーメダバード、ベンガルール、チェンナイにて自社管理の長期滞在型サービスアパートメントをご提供。

**FRRO/FRO
全般手続きサポート**

経験ある専門スタッフが確実にご手配。インド各州の法に則り、効率的にお手続きを完了致します。



ドライバー付レンタカー

現在、インド全国で550+台以上の車両を所有。ご家族やお子様、女性も安心してご利用いただけます。

お引越しサービス

お荷物や家具の国内移動、オフィスの移転などの際に、大切なお荷物を、最適な状態で運搬するお引越しサービスをご利用ください。



ツアーパッケージご手配

お一人からご家族、社員、団体研修旅行までの幅広いツアーパッケージをご要望通りにご提供します。



MobiRelo Technology for Everyone

formulaindia.co.jp



お問い合わせはお気軽に私たちジャパンデスクまで!



長谷川 大海
日本



イシャ ヴィドワンス
ムンバイ



土橋 美由紀
デリー-NCR



ドゥリテカ スタン
デリー-NCR



ヴィディ ジェーン
デリー-NCR



タンヤ エーブル
デリー-NCR



シュリシティ モハンティ
デリー-NCR

お問い合わせ: [日本語可] +91-99100-13038, +91-96502-99556 | [英語] +91-98181-97782

Eメールアドレス: enquiry@formulaindia.com | ウェブサイト: www.formulaindia.co.jp

デリー | ガルグラム | ムンバイ | プネ | ベンガルール | チェンナイ | ハイデラバード | アーメダバード | スーラト

-----KRISUMI-----

CORPORATION

WATERFALL RESIDENCES

クリスミ

ウォーターフォールレジデンス

日本人駐在員の方におすすめ



間取り

2LDK、3LDK、3LDK + S

所在地

Sector 36A, Gurugram
(グルガオン セクター36A)

アクセス

マネサールから車で約20分
エアロシティから車で約40分
デリー国際空港から車で約35分

設備

駐車場、レストラン、ジム、スパなど



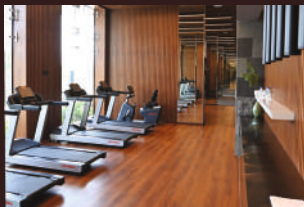
家賃

13万～23万 INR*
*家具・家電付き、税別



サービス

ハウスキーピング、クリーニングなど



お問い合わせ

担当: 小早川 - +91-81309-66311
Deepti Kapoor - +91-9811441455
Leasing@krisumi.com (日本語・英語対応可)



WATERFALL RESIDENCES

KRISUMI SALES LOUNGE, SECTOR 36A, DWARKA EXPRESSWAY, GURUGRAM



L'OPÉRA

PÂTISSERIE • BOULANGERIE

SALON DE THÉ

L'Opéra(レペラ)新作サマー・ビバレッジ・メニュー

フレッシュな美味しさ、こだわり仕立てのハンドクラフト・クーラー

ココナッツブルフィー



焦がしバターの
コールドコーヒー



ピニャ・コラーダ



グリーンアップルモヒート



スパイス・ジャムン



L'OPÉRA is a registered trademark of © French Bakery Pvt. Ltd. - 05.26

ご注文は <https://loperaindia.com/shop/> または +91-88000-97255まで。



で注文できます | Follow @loperaindia

